

摂津市議会

民生常任委員会記録

平成18年3月15日

議 会 事 務 局

目 次

民生常任委員会

3月15日

会議日時、場所、出席委員、説明のため出席した者、出席した議会事務局職員、審査案件	1
開会の宣告	2
委員会記録署名委員の指名	2
議案第7号の審査	2
質疑（村上委員）	
議案第29号の審査	4
質疑（村上委員、安藤委員）	
議案第32号及び議案第33号の審査	7
質疑（村上委員、上村委員、柴田委員、安藤委員）	
議案第3号、議案第4号、議案第11号、議案第12号及び議案第34号の審査	26
補足説明（保健福祉部長）	
質疑（村上委員、上村委員、柴田委員、安藤委員）	
議案第24号、議案第30号及び議案第31号の審査	50
質疑（村上委員）	
議案第8号、議案第14号及び議案第37号の審査	51
質疑（村上委員、上村委員、柴田委員、安藤委員）	
採決	74
請願第1号の審査	76
請願紹介議員説明（山本靖一議員）	
質疑（安藤委員）	
採決	78
閉会の宣告	78

民生常任委員会記録

1. 会議日時

平成18年3月15日(水) 午前10時 2分 開会
午後 5時35分 閉会

1. 場所

第一委員会室

1. 出席委員

委員長	嶋野浩一朗	副委員長	安藤 薫	委員	柴田繁勝
委員	本保加津枝	委員	村上英明	委員	上村高義

1. 欠席委員

なし

1. 説明のため出席した者

市長	森山一正	助役	小野吉孝
生活環境部長	前田宜伸	同部次長兼自治振興課長	大場房二郎
産業振興課長	川上孝也		
保健福祉部長	堀口賢司	同部次長兼国保年金課長	佐藤芳雄
同部参事兼健康推進課長	福永富美子	同課長代理兼衛生業務係長	阪口 昇
高齢者障害者福祉課長	登阪 弘	こども育成課長	山本和憲
介護保険課長	井口久和		
請願紹介議員	川口純子	請願紹介議員	山本靖一

1. 出席した議会事務局職員

事務局次長 野杵雄三 同局書記 中井真穂

1. 審査案件(審査順)

議案第 1号 平成18年度摂津市一般会計予算所管分
議案第 9号 平成17年度摂津市一般会計補正予算所管分
議案第 7号 平成18年度摂津市パートタイマー等退職金共済特別会計予算
議案第29号 摂津市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定の件
議案第32号 摂津市営葬儀条例の一部を改正する条例制定の件
議案第33号 摂津市立葬儀会館条例の一部を改正する条例制定の件
議案第 3号 平成18年度摂津市国民健康保険特別会計予算
議案第 4号 平成18年度摂津市老人保健医療特別会計予算
議案第11号 平成17年度摂津市国民健康保険特別会計補正予算
議案第12号 平成17年度摂津市老人保健医療特別会計補正予算
議案第34号 摂津市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件
議案第24号 摂津市障害者介護給付費等支給審査会の委員の定数等を定める条例制定の件
議案第30号 摂津市老人医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例制定の件
議案第31号 摂津市立ふれあいの里条例等の一部を改正する条例制定の件
議案第 8号 平成18年度摂津市介護保険特別会計予算
議案第14号 平成17年度摂津市介護保険特別会計補正予算
議案第37号 摂津市介護保険条例の一部を改正する条例制定の件
請願第 1号 国民健康保険料の値上げをやめ、減免制度の拡充を求める請願

(午前10時2分 開会)

○嶋野委員長 おはようございます。

ただいまから民生常任委員会を開会します。

本日の委員会記録署名委員は柴田委員を指名します。

議案第7号の審査を行います。

本件については補足説明を省略し、質疑に入ります。

質疑のある方、挙手願います。

村上委員。

○村上委員 おはようございます。

パートタイマーの件なんですけれども、議案第7号の8ページなんですけど、款2、共済金、項1、共済金、目1の共済金ということで、前年に比べて375万円の減ということになっております。その減の理由をちょっとお聞きしたいなと思います。

このパートタイマー等退職金共済の制度というのは昭和60年4月に発足したということで、それがずっと企業の雇用の安定とかパートタイマーさん等の労働福祉の推進ということを目的としてつくられている制度なんですけれども、その375万円の減の理由と、平成15年度からのこの加入の事業所数とか、あと、被共済者の数、それからまた、利用者の数をちょっと教えていただければなと思います。

○嶋野委員長 川上課長。

○川上産業振興課長 まず、本年度の共済金、減っているじゃないかというあたりなんですけど、例年、退職の見込みというものに立って共済金を予定いたしましたし、予算組みをするわけでございますけれども、本年度の見込みでも、多分予算執行として60%強ぐらいに落ちつきそうでございます。ここしばらくの傾向として、少し大目に予算措置、そういう感

じだったものでございますから、もう少し実勢に近づけるようにということで、これぐらいまで減額をさせていただいても、来年度予想されます新規のご退職の方に対する対処は可能であろうということで、こういう数字になった次第でございます。

それから、加入事業所数の最近の動向ということでございますが、手元の数字、平成15年度、これは2月末を一応区切りにしてございますけれども、その時点で54事業所、被共済者の数で327名、それから16年度、53事業所、被共済者301名、それから、ちなみにあと本年度の状況を申し上げておきますと、この1月末でございますけれども、48事業所、被共済者の数276名ということになってございます。

○嶋野委員長 村上委員。

○村上委員 事業所数とか被共済者の数をお聞きしましたが、ちょっと私ども、平成7年度ぐらいを調べたんですけれども、そのときは65の事業所がありました。被共済者の数は590名ぐらいおりましたかね。そういう形で、事業所にしても20ぐらい減っていると。また、被共済者の数にしても半減以下になっているというようなところで、ほかにも中小企業の退職金共済制度とか特定退職金共済制度ですか、そういうような制度もございまして、その辺もまた含めて、今後のPRというんですか、活用のごとも考えていただきたいなと思うんですけれども、その辺の、先ほど言いました中小企業退職金退職金の共済制度とか特定退職金の共済制度なども含めて、今後のこのパートタイマー等退職金共済制度の考え方をお聞きしたいなと思います。

それと、運用の面で、利息、昔は5.7%か何かだったんですか、そういう形

だったんですけれども、平成12年度、配当金額の3%引き下げをされたということで、平成15年にまた1%に減ったと、そういうふうにお聞きしました。その中で、掛金というのは2,000円のずっと一律になっているかと思えますけれども、その辺で、摂津市パートタイマー等の退職金共済運営委員会に諮問されて、こういうような利率とかを算定されたというふうにお聞きしております。

この運営委員会の構成というのをひとつお聞きしたいなと思えますので、そのパートタイマーの今後の考え方とこの運営委員会の構成、この2点だけちょっとお聞きしたいなと思えます。

○嶋野委員長 川上課長。

○川上産業振興課長 ほかの類似の中退共あるいはほかの特退共、そういうものとのいわば並立状態ということになっているわけでございますので、その辺をどういうふうにか考えるのか。それと、具体的に、制度発足以来の利率の動向といったことについても言及をいただきました。

これは、時々、予算に限らず決算の場面でもお尋ねをちょうだいすることがあるわけでございますけれども、私どものこの共済事業につきましては、ほかの共済事業を承っております限りでは、掛けられました共済掛金の中から、例えば事務費なども捻出をして制度運用に当たるといようなことがあるわけでございますけれども、その点、私どもの場合には、500万円の範囲内でございますが別途に基金も積みまして、その果実で事務費を運営するというので、共済掛金にそういう事務的な負担の影響が及ばないよというので措置をいたしておりますので、その点が一つのメリットということであるのかなということでございます。

それと、比較的小ぶりの共済事業ということになってございますので、例えば、ご退職のお申し出をいただきましてから、おおむね一月以内には共済金をお支払いできるというようなことがございまして、そういう小回りがきくと申し上げましょうか、どういう表現が適切かちょっとわかりかねるところもございすけれども、そういう点が、私どもの共済事業が、今ご指摘もございましたけれども、類似のほかの事業と比べてメリットがあるんじゃないかなというふうに一応考えてございます。

それと、毎年度の一定の一般会計からの繰り入れというのはあるわけなんでございすけれども、ざっと申しますと8,000万円程度の積み立てを持ちまして、これは仮定の話でございますけれども、全被共済者の方ご退職という事柄が仮に発生しましたとして、それに対処し得るといことで準備金として持っているわけでございますが、その今1%程度ですから、おおむね80万円ぐらいの繰り入れというようございすので、私どもが持っております、いわば労働関係予算と申しまししょうか、そういうものの水準からいたしますと、先般の1日目の一般会計のご審査の中でも、予算総額に対する民生関係費の比率というようお話もございましたけれども、そういうことで申しますと、非常に少額のものではございすので、これについては、先ほど申し上げたメリットのこともございすので、当面、この制度全体をどうしようかというようことでの考え方を持ってございせんので、さらに一方、ご指摘ございましたように、ずっと被共済者の数あるいはご加入をいただいている事業所の数、言うなれば低減傾向でございす。それはもう事実でござ

います。ということがございますけれども、限られた機会ではございますけれども、すべての事業所に対して、私どもからいろいろ発信しますときには、必ずこのパートタイマー等退職金共済のPRも加えさせていただくというようなこともございまして、毎年度、新しくご加入をいただく事業所というの、ちょうどこれ判で押したようであれなんですけれども、毎年度1事業所おありになるということもございまして、私どもとしては、当面、今の形で制度を運用し、そういう小規模共済としてのメリットを踏まえながら、私どもとしての、とりわけパートということでございますと、一般的に申し上げて、その就労条件と申しましょるか、少し恵まれないこともおありでございましょうから、その一助にということと事業を継続してまいりたいというふうに考えてございます。

それと、パートタイマー等退職金共済運営委員会のことでございますけれども、委員の方6人をお願いしてございまして、これは、事業主に相当する方、あるいは働く立場、ただし、パートタイマー当事者を委員にお迎えするというのはちょっと難しゅうございまして、市内の労働組合の役員の方をお願いをしてございまして、その方を介して、その事業所におけるパート労働者のお声というのを反映できるかなという期待を持ってございますけれども、あるいは学識経験者というような顔ぶれで、全体6人で運営をさせていただいております。

○嶋野委員長 村上委員。

○村上委員 わかりました。

この制度というのは、昭和60年からずっと21年続いているということで、今後、事業もこのまま継続していきますよというご回答があったわけなんですけ

れども、この21年続けてこられた中で、先ほどの早期支払いが可能というようなメリットも生かしていただいて、この事業の拡大というんですか、17年度1事業所が新規に入られました、そういうお話もございました。そういう形で、本当にこのPRをどンドンし、また広めていただいて、この制度、もともと企業の雇用の安定とか、パートさんの福祉の増進ということもありますので、その辺で活用していただくような形で、ほかの二つの制度も含めまして、今後行っていただきたいなど。それで、この事業所の方というか、市民の方へのメリットも含めまして、本当に市民のためになるような形で、この制度の運用というのを今後継続していただければなと思いますので、よろしく願いいたします。

○嶋野委員長 ほかに質疑ございますでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○嶋野委員長 以上で質疑を終わります。暫時休憩します。

(午前10時15分 休憩)

(午前10時16分 再開)

○嶋野委員長 再開いたします。

議案第29号の審査を行います。

本件については補足説明を省略し、質疑に入ります。

質疑のある方、挙手を求めます。

村上委員。

○村上委員 この議案第29号ということで、乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正ということで、本会議の折に、大阪府条例の変更に伴うものというふうなことをお聞きしました。

今現在、この申請というのは1年以内にされているんだというふうに認識しておるんですけれども、それで、この申請期限の規定廃止という形で、今後の事務

処理の流れというのはどうなるんでしょうかというのを1点だけお聞きしたいなと思います。

○嶋野委員長 山本課長。

○山本こども育成課長 従前、現在の条例でいきますと、受付期間が1年間でございます。これを、大阪府の事務要領同様に撤廃いたすことによりまして、一応5年間の分がさかのぼって申請可能になるということでございます。

○嶋野委員長 村上委員。

○村上委員 わかりました。

この乳幼児医療の関係で、一つ教えていただきたいんですけども、インフルエンザの予防接種が、65歳以上の方に対して助成制度があるというふうにお聞きしておるんですけども、この乳幼児に対して、インフルエンザの助成制度を新たに設けるといふか、拡充といふのはどういふお考えであるのか、もしわかれば教えていただきたいなというふうに思うんですが。

○嶋野委員長 暫時休憩します。

(午前10時18分 休憩)

(午前10時19分 再開)

○嶋野委員長 再開いたします。

福永参事。

○福永保健福祉部参事 乳幼児のインフルエンザの予防接種については、まだ科学的な根拠が有効であるとも、有効でないとも示されておりませんで、厚生労働省の方でただいま研究中ということのご報告をいただいております。

国の方も、まだ予防接種法に載せるという方向性も出しておられませんので、ただいまのところ、市の方は国の指示を待っているという状況でございます。

○嶋野委員長 村上委員。

○村上委員 ありがとうございます。

この申請の関係については、支障なく

といふか、速やかな形で事務処理が進められるようにということをお願いさせていただいて、先ほどのインフルエンザの件なんですけれども、今後の少子化対策といふか、そういうものを含めて、ちょっと今後、ご検討といふか、研究をしていただきたいなと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○嶋野委員長 ほか、質疑ございますでしょうか。

安藤委員。

○安藤委員 2点ほどお伺いしたいんですが、今回の、今ご説明いただきました事務の流れは理解しました。この入院に係る医療費の償還を受けるに当たっての手続きといふのは、今どのようになっているのかといふ、ちょっとその点、確認をしたいと思うんですけども、ご答弁いただけないでしょうか。

それから、1年から5年に延びるといふことは、非常に利用者側からしてみればありがたい制度改正だと思うわけですが、今まで、入院に係る医療費の償還払いの申請で、窓口に来られている方の実際の数字といふのはどのぐらいになっているのかといふ点をちょっとお聞かせいただけないでしょうか。この予算の中にどのぐらい見込まれているのかということも含めてお願いします。

○嶋野委員長 山本課長。

○山本こども育成課長 手続きにつきましては、入院されますと、病院の窓口で現金でお支払いをいただくということで、保険点数のわかる領収書等をお持ちいただきまして、窓口においていただいて、後日、振り込みで還付をしているという状況でございます。

件数につきましては、しばらくお待ちください。

○嶋野委員長 暫時休憩します。

(午前10時21分 休憩)

(午前10時22分 再開)

○嶋野委員長 再開いたします。

件数等については、後日、資料として提出を願います。

残る部分について答弁をいただきます。

山本課長。

○山本こども育成課長 予算ベースでというところでございますが、件数的に、1年分につきまして、詳細は今資料ございませんけれども、額的にそんなに多数を見ておりませんので、現在いただいておりますの中で予算的には処理していけるかなというふうに考えております。

○嶋野委員長 安藤委員。

○安藤委員 非常にありがたい制度改正でございますので、周知徹底の方、広くいただきたいなというふうに思うわけですが、手続きの問題で、例えば高齢者の方の医療費の償還払いの場合というのは、支払い基金から請求が回ってきて、上限を超した部分についてはその患者のところへ通知が行くというような手続きがとられているというふうに理解しているわけなんですけれども、この乳幼児の入院の償還払いの手続きにおいてはそういった手続きというのはとれないのかどうか。

といいますのは、制度上、通院1回500円と、それから2回1,000円、今度の7月から2,500円の上限があって、それを上回った部分の請求と、それから入院の部分での請求と、非常に利用者の側からしてもちょっとわかりにくい制度になっているのかなというふうに思うんですけれども、実際に償還払いを受けられる方が、領収書を紛失してしまったり、また、制度を知らないことによって償還されるべきものがされていないというようなことも考えられるというふう

に思うんです。小さいお子さんをお持ちの保護者の方が窓口まで足を運ぶというのも、市役所の開庁時間に来るのもなかなか困難な中で足を運ばなければいけないということも想像できるんですけども、そういった手続きの簡素化、それから、償還を受けられるべき方が漏れなく償還を受けられるようにするための工夫といえますか、そういった事務の流れというものを考えておられるのかどうか、ちょっとその点をお聞かせいただけないでしょうか。

○嶋野委員長 山本課長。

○山本こども育成課長 まず、制度の変更のPRにつきましては、やはり広報を通じてさせていただきたいというふうにまず1点思っています。また市のホームページもございますので、そこにそういう改正点を入れていきたいというふうに考えております。

この制度でございますが、医療証をお持ちの4歳未満の方につきましては、府内病院に受診いただければ、入院していただいても、500円とか1,000円の一部負担金はちょうどいいと思いますが、それ以上は病院ではちょうどいいしなと。また、この制度につきましては、4歳以上の方でございますので、医療証をお持ちでない方でございます。

そういう状況でございますので、国保であったりとか社会保険、健保組合等々ございますが、どの方が入院されて、医療費を払っておられるかというデータが我々のところへ戻ってこないというような状況でございます。だから、自動的に償還できないのかというお問い合わせでございますが、そういうデータが我々の方に戻ってこないというような状況では、自動償還はなかなかしんどいかなと思っております。

ということで、今回、改定を提案いたしました。

○嶋野委員長 村上委員。

○村上委員 この21年間、社会情勢が変わったにもかかわらず、使用料の方はさわりませんでしたというか、改定はしなかったということで、今回、社会情勢等にのっとなって改定しますと、そういうふうに認識してるんですけども。

飾り付け関係、結構、最近、昔に比べれば華やかになりつつあるのかなと。それで、私、ご近所から聞きますと、お年寄りの方がおられれば、だんだん葬儀のことも考えなくてはいけない、そういうことで、本当にお金の段取りというんですか、その辺もちょっと真剣に考えていくというか、金額面で本当に心配もされていると思いますので、本当に、今後、市民のためになるというか、本来の葬儀のあり方ということを踏まえまして、市民のためになるような運営で今後お願いしたいなと思います。

最後、ちょっと1点だけなんですけれども、この霊柩自動車の「柩」が平仮名になったんですけど、その理由をちょっとひとつお聞きしたいなと思いますので、よろしくお願いします。

○嶋野委員長 福永参事。

○福永保健福祉部参事 霊柩自動車の

「柩」という字は常用漢字にございますので、それを平仮名と改めさせていただきました。

○嶋野委員長 村上委員。

○村上委員 わかりました。

先ほど言いました、この使用料の改定ということで、市民の方にわかりやすいようなPRのやり方というか、本当に考えていっていただいて、先ほど言いました葬儀のあり方を、皆さんの方にご理解していただけるような資料づくり、パン

フレットづくりを、今後ちょっとお願いしたいなと思いますので、よろしくお願いします。

○嶋野委員長 ほかにございますでしょうか。

上村委員。

○上村委員 そしたら、私の方から、議案第32号、33号に対しての質問をさせていただきます。

まず、今、議案第32号につきまして、提案の理由ということで説明がありました。今の説明でいきますと、昭和60年からこの制度ができて、消費税あるいは税の見直し等々があったんですけども、この額については据え置いてきたということでお話ありましたけれども、ということは、この使用料を改定するということは、コスト的な面で改定するということでありまして、この議案第33号、葬儀会館条例の改正については、6万5,000円から8万円に使用料を上げるということでありまして。こちらの方の理由もあわせてお願いしたいということと、議案第32号と33号は、コストということであれば、どういう形で、当初の計画から見て負債が出てくるのかなというのを含めてお願いしたいと思います。

○嶋野委員長 福永参事。

○福永保健福祉部参事 メモリアルホールの使用料の改定についてでございますが、こちらの方は、現在、最後の法要室も使用された場合は6万5,500円、そこを8万500円と改定の提案をいたしております。これにつきましては1万5,000円の値上げになるわけですが、これは、従来、この17年の3月議会でご議論いただきましたが、市営葬儀の使用料と委託料の差異が8,000円ございまして、これの説明を従来

は、メモリアルホールの飾り付けの使用料の一部とさせていただいているというような説明をさせていただいていただけでございますが、これが非常に不透明であるというようなご指摘を受けまして、今回、先ほど申し上げました市営葬儀の使用料、委託料の改定とさせていただきます。

このことにより、これまで説明を申し上げていました8,000円、メモリアルホールの方の使用料として、透明な形で、市民の方にもわかる形で上乗せさせていただきます。

同時に、メモリアルホールのランニングコストでございますが、毎年1,800万円とか2,000万円とかそのような赤字部分を抱えております。このランニングコストの解消ということを含めまして、今回、1万5,000円の使用料の改定を提案いたしました。

それから、メモリアルホールの使用料の改定を含めて、市営葬儀、メモリアルホールを使った場合にどのような値段になるのかというご質問かと承ったんですが、飾り付けの使用料が、カトレアの場合を例にとりますと、16万3,500円から17万3,500円に1万円アップとなります。それから、霊柩自動車の使用料が、宮型ですと2万5,500円、簡易型ですと1万1,600円になりますが、今ほとんどの方が使われておられます宮型で2万5,500円を使用した場合、それから、斎場施設の使用料が5,000円ということで、合計で、現状は19万4,000円プラス6万5,500円で25万9,500円のところが、18年の7月1日からは、先ほどの、カトレア全部使用いたしますと20万4,000円と8万500円となりますので、28万4,500円という金額となる予

定でございます。

○嶋野委員長 上村委員。

○上村委員 議案第32号で、この出してきた目的ということで、過去の間緯から全然値上げしてないという部分がありましたけれども、市営葬儀は簡素で質素というのを目的にされているということで、市民の方に、メモリアルホールができてから、あそこを使うということは非常に感謝されてますよね。今まで、集会所あるいは民間という形で行ってきたんですけれども、実際あそこができて非常に喜ばれているということでもあります。

その喜ばれている人が喪主なのか、あるいは参加されている人は喜んでいて私は思うんですけれども、喪主の方が本当にあそこでやってよかったと思われるようなことが言えるのかなというのがありますし、そりゃやっぱり葬儀費用ということで、トータル的なコストということでもあるんじゃないかなと思ってますし、先ほど、村上委員の方から、葬儀の費用ということで、幾らかかるんかと言われたときに、我々も答えられない部分があります。財産はもう葬儀費用だけ残して、あとはもうということでよく我々も相談受けるんですけれども、そういった場合に、一体幾らぐらい市営葬儀にかかるのかなというのが全く見えてないというか、我々も答えられない部分があるんですけれども、そういうのが、市の方で幾らぐらいということで、もしつかまれているのであれば教えていただきたいということ。

もう一つは、議案第33号の方で、今6万5,500円が8万500円と言いましたけれども、使用料が1万5,000円上がりますよね。それと、祭壇ということで10万円、今後新しく別途計上されてきたんですけれども、この意味合

いを説明していただきたいということと、当初、このメモリアルホールをつくられたときに、要はコスト的な運用ということとでどういう試算をされたのかなということとであります。今1,800万円の毎年の赤字ということを言われましたけれども、実際赤字になってますけれども、これは市民の方がみんな使われるんで、福祉ということであれば、これは別に税金を投入してもいいのではないかなという考えもありますし、当初、このメモリアルホールをつくられたときに、赤字を多分覚悟してつくったと思うんです。それが予想に反してどう変化してきたのかというのが非常に問題であって、当初、メモリアルホールを運営するのに1,000万円の経費が要ということで試算されたのか、それが今1,800万円になったからこれは大変だということなのか、そこが問題であって、当初の見込みが2,000万円であって、今1,800万円で済んでいるのであれば、これは別に問題ではないんです。これは、やっぱり福祉というか運営経費ということでは、これは市が負担すべきということでされたのか、あるいはこれは全く、あそこの運営経費はその利用者が負担するんだという考えであったのかどうか、そのところをもう一度お聞かせ願いたいと思います。

○嶋野委員長 福永参事。

○福永保健福祉部参事 まず、一般的に葬儀にどれぐらいかかるのかというご質問なんですけど、以前、平成14年11月に市民の方に実施いたしましたアンケートでは、大体100万円から200万円までの間のご負担の市民が多くを占めておりました。最近の事例でも、193万円だとかそのようなお値段のご報告をいただいたりもしております。これまで、

大体、会葬者が100人程度と見まして、150万円前後というのが平均的なお葬儀の費用というふうなつかみをしております。これには飲食代が含まれておりませんので、それを含まずともう少し上がるのかなと。ただ、人数にもよりますし、それから、人数も影響するんですが、粗供養の数だとか、それから、お坊様の謝礼等々、もう本当にご家庭によって違うようでございますので、一概には言えませんが、アンケート等からはそのような数字が出ております。

それから、祭壇貸し出し費用の10万円についてでございますが、これは、現在、メモリアルホールを使用される場合、市営葬儀でない場合には祭壇を使用していただいております。例えば、市民の方で互助組織などに入ってもらっちゃって、どうしても市営葬儀の業者以外で葬儀をしたいんだけど、メモリアルホールを使いたい。その場合には祭壇は使えないのかというようなご質問をいただいたりしたこともございます。そういう場合に、市民の税金で建てましたメモリアルホールを、全く祭壇は使えないんですというようなお返事をこれまでしてきたわけですが、そういう方にも門戸を広げたいという思いがございます。それが主な理由でしょうか。

それから、コスト、当初はどのように考えていたかということとでございますが、ランニングコストの赤字部分というのはほとんど変化なく、年度によって多少葬儀の件数が違いますので赤字の額も違ってくるわけなんですけど、1,800万円から2,200万円までという赤字が出ております。ただ、当初と変わらないなら、今までとどのような考え方の変化があったのかということにつきましては、メモリアルホールを建てた当初は、やは

りそれまでは他市の葬儀会館でお葬儀をされていた方、それから、集会所やご自宅等々でお葬儀をされていた方に、メモリアルホールをできるだけ安価な値段で使っていただきたいというこちらの施策的な意図があったかと思えます。それで、赤字は覚悟ということでやってまいったわけですが、近年はメモリアルホールでの葬儀がほとんどになってきているということと、それから、市民にも大変喜んでいただいているわけなんです、市の財政そのものの赤字が膨らんでおりますので、その部分を利用者に少しでも負担していただけないものかということでございます。

そのときに、今、福祉という考え方というお話がございましたが、担当課としては、葬儀は福祉というよりは、民間でもできる事業であるということで、応分の負担をいただくという方向に、建てた当初からは変わってきているということをご理解願いたいと思っております。

○嶋野委員長 上村委員。

○上村委員 そうしたら、まず議案第33号の件で、今のその福祉という考え方で、実は、このメモリアルホールを使われる方が、亡くなった方の中で何%であるかというのが非常に気になるんです。もう100%皆さんがメモリアルホールを使われるのであれば、これはやっぱり完全に福祉ということで、市民全体に公平に税金が分配されますよね。これは特定というか、市としてはメモリアルホールを使うようにつくったんですけれども、それ以外にも比率がどれぐらいかなというのが気になるので、そこをちょっとひとつお聞かせください。

それと、飾り付け使用料の改定ということでありますけれども、飾り付けの範囲というのは、あそこの祭壇と、あと祭

壇に含まれる一式と思うんですけれども、ここにうたわれている飾り付けの範囲というのはどういうものを示すのかをひとつお聞かせ願いたいというふうに思います。

それと、先ほど、葬儀に係る費用の説明がありましたけれども、100人規模で150万円前後ということで今お話ありましたが、そのお金が他市と比べてどうなのかというのが非常に気になりますし、民間と比べてどうかなというのも気になりますし、市でやる以上は安くあがったというのが市民的には喜ばれることなので、それがどういう金額なのかなということをお聞かせ願いたいということをお願いいたします。

○嶋野委員長 福永参事。

○福永保健福祉部参事 まず、メモリアルホールの使用の割合でございますが、平成16年度は、市民の葬儀の合計が486件、そのうちメモリアルホールをご使用になられた方が355件、平成17年度で、見積もっております市民の葬儀合計が435件、メモリアルホールのご使用が302件、これはまだ年度途中なんです、大体69から70%ぐらいということでございます。

次、もう一つ、他市との比較でございますが、市営葬儀のあり方そのものが、それぞれの市によってかなり違っておまして、例えば、茨木市は市の職員が市営葬儀そのものを受け付けをしたり、とり行いをしたりということをしてらっしゃいますし、同じような形が、池田市等もそうだったかと思えます。本市の場合は、市営葬儀の委託業者5社に任せているというような状況もございまして、それから、祭壇の飾り付けなどの制限等々もかなり市によって違っておしますので、一概に比較はできないんですが、ただ、市

営葬儀の使用料そのもの、現在で、例えば、茨木市ですと、市営葬儀使用料は11万5,000円、吹田市で21万380円、池田市で23万9,000円何がしかというような、豊中市も21、2万円というようなお値段を伺っております。ただ、茨木市、かなり安いなということで見えるんですが、こちらは、会館の使用料が190席の場合は13万4,100円というように伺っております。それで、市営葬儀と会館を使用した場合の比較をいたしますと、今度の改正案で、本市は28万4,500円となるわけですが、茨木市で25万円ぐらい、今度、高槻市は、連休前にオープンの予定ですが34万円ぐらい、池田市で38万8,000円ぐらいというように伺っております。

一概に比較できませんが、他市はこのような状況でございます。

○嶋野委員長 阪口代理。

○阪口健康推進課長代理 それでは、市営葬儀の飾り付けにつきましてご説明申し上げます。

市営葬儀の内容でございますけれども、これは、納棺等の遺体の取り扱い、それと葬祭用品、これはひつぎを含めまして仏衣その他の葬祭用品の供与、供給です。それと、通夜は入ってないんですけれども、葬儀当日の式辞進行と、これまでを含めていわゆる市営葬儀というのを、委員ご承知のように、全面業者委託により現在運営をいたしておるわけでございます。

その中で、飾り付けでございますけれども、委員ご案内のとおり、カトレア、アイリスというふうな両規格がございますけれども、条例の規則に、燈籠一対だとか、あるいは会葬所の受付簿というふうなことで、いろいろ事細かく記載され

ております。

今回、葬儀の見直しに伴いましてご提案をさせていただいております中身でございますけれども、一応、これまで、遺影写真とか、あるいはドライアイスというのは、本来葬儀につきものの物でございました。これが今まではついておりませんでした。今回、こういう当然あつてしかるべき物につきましては市営葬儀の中に含めまして、そういった改善を加えながら今回のご提案をさせていただいております。

祭壇飾りにつきましてはパンフレットをごらんいただければ、目で見ると一番わかりやすいのかなというように考えております。

○嶋野委員長 上村委員。

○上村委員 亡くなった方でメモリアルホールを使用される方が70%ということで、大半の方が使用されているということですね。

ということで、税金を投入しても市民に還元されているということでは、非常に有効な運営だというふうに思うんですよ。だから、それは、余りコストということで、そこにコスト意識を持っていくということは、やはりそれは健全なメモリアルホールの運営ということでは必要かもしれませんけれども、ただし、70%の方が利用されるということであれば、これは有効な税金投入ということが言える気がするんですよ。

ですから、今回、1万5,000円、何年かぶりで上げましたけど、やはりこれはむやみにコスト意識を追求することではなくて、先ほど言いましたように、当初の計画があつて、今回ずっと赤字できておるといふことでありますから、赤字という考えじゃなくて、運営経費という考えでいけば、これは、僕は、

市民から見た場合に納得できる税金の使い方じゃないかなというふうに理解しますので、今回、8万円に上げますけど、これは長年据え置いたこともあってそういうふうにしてますけれども、このことについては、今後やっぱりこういうことを考えながら値段というのは決めていかなければならないんじゃないかなと思ってます。

それと、飾り付けについて今お話ありましたけれども、僕らお葬式によく参加しますけれども、今、花スロープということで飾り付けされています。今後、今の写真でいくと、あの花スロープは写真に載ってないんですよ。あれだと市営葬儀でないということでありまして、写真のとおりが市営葬儀ということであれば、非常に、市民にとっては簡素で質素ということで負担が少ないということはいいいことなんですけれども、ただ、送る側としては、ちゃんと花で飾ってあげたいという気持ちもあるんだと思います。その板挟みが、非常にお金か気持ちか揺れるところがあると思うんですけれども、今回、市の方が、市営葬儀はこれだと、それ以外はもう市営葬儀でないという形で区別するんですけれども、そのことは、やっぱり市民にとってどうかなということも今後きっちりチェックしていかなければならないことでしょうし、やはり簡素で質素ということであればお金ということがついて回る話なんで、先ほどお話ありましたけれども、各市の、これは葬儀使用料と会館使用料ということで今お話ありましたけれども、全体のコストということをとらまえて、きっちり市民に、市営葬儀であれば幾らということを示すことが大事ではないかなと思ってますので、私は、ある市の全体の金額をつかんだるんですけれども、大体、参加者、人

数に対して、僧侶への謝礼は含まずに、参加人数に対して、一人1万円以内で済むような金額なんです。さっきだと、参加人数掛ける1万5,000円ぐらいで済むような費用の試算の話がありましたけれども、他市は、僧侶への謝礼を含まずに、一人1万円以内の金額を提示している部分もあるんで、その辺をじっくり研究しながら、市民に対して、やはり市営葬儀ということをしていただくのであれば、金額をきっちり明示していくことが大事ではないかなと思ってますので、多分、葬儀屋さんそのものは利益追求なんで、当然、市営葬儀でない、一般葬儀の方にいく傾向にならざるを得ないという状況がありますので、そのところ、やっぱり葬儀屋さん、委託先ともようようお話しする中で、市民への還元ということも含めて、十分に議論してやっていただきたいなということをご要望しておきたいと思います。

○嶋野委員長 ほかに質疑ございますでしょうか。

柴田委員。

○柴田委員 今、村上委員、そして上村委員、両方とも、かなり詳しいところまでお尋ねになりましたので、私も議案第32号、33号につきまして、少し私が考えていること、また地域での少し問題になりつつあるのではないかなということも踏まえてお尋ねします。

先ほど、改定されたけれども、今までの分にはドライアイスと遺影は入ってなかったんだと。今回は遺影とドライアイスも入れて1万5,000円アップというんですか、それの中に入る。結果的には、そしたら安いということになりませんか。

というのは、私、遺影つくってもらうのに、たしか3万円とかいうような数字

も出てましたし、ドライアイスも業者はえらい高い数字出してましたから。それから、遺影まで含めてこの値段でできるということであれば、この金額はむしろ安いというふうにとれるのではないかと、いうふうに思うんですが、いかがでしょうかということ。

全体的に、年間赤字1,800万円から2,200万円という数字が出てる。先ほどもいろいろとご質問がありましたけれども、その数字は、やはり福祉全体から考えて、当然、市としてそれぐらいのことは考えていかなきゃならないという数字なのかということ、これは議論が分かれるところですね。本来なら、やっぱり会館は独立採算ということになれば一番いいんでしょうけれども、こういうお葬式にまで利益を追求するのかというようなことを言われると、そりゃ市としても大変しんどいところもあります。

私は、今回、10万円の祭壇使用料ということ、これは画期的なことで、指定店以外の葬儀屋さんをお使いになるときに、この会館の祭壇を使えるということは、葬儀をされる市民の皆さんにとって大きなメリットだというふうに思っています。

逆に言うと、今まで自分とこで持ち込んでた祭壇であれば、30万円とか50万円とかいう数字で売れるものを、ここをお使いになるので10万円ということになりますから、業者からしますと、おいしいところが少なくなるなということになるのではないかな。

そういう意味で、指定業者以外の方がこの10万円の祭壇を使われるということに対しては画期的なことだし、市民にとっては喜ばしいことだし、うちでも、別に使わんでも色は少しあせていきますから、やっぱり一回でも使ってもらって、

10万円でも入ってきて、その数字が何回になるかわかりませんが、それだけ収益が増えるということですから、これも非常にいいことだと。

だから、この条例について、私、非常にいいことだというふうに思うんですが、その中で問題が出てくるのは、この10万円の祭壇使用料をもって、今後、先ほども上村委員からもありましたが、市営葬儀と一般葬儀の区別を、今後、今日の市営葬儀の中へくさびを打っていくということになりますね。そこら、先ほども出ておりました花スロープという問題の扱いをどこで線引きをするのかと。あれはあくまでも市営葬儀の域から逸脱しておると。だから、ああいうことをされるのは、市営葬儀という扱いは市としてはできないという見解を今後出していかれるということになるのかどうか。

ここで、一つ私が考えることですが、過去に市営葬儀の条例が決まって、摂津市で市営葬儀してきましたね。そのころは葬儀会館がなかったですね。各家で、また集会所とかそういうところを利用して、ほとんどが自宅葬儀というのも多かったように思います。そのころから、摂津市にとっても、新生活運動というのはこの前ちょっとお尋ねしたんですが、ともかく、こういうことへの簡素化、お金のかからない、そして、余り見栄を張らないということで、各自治会で、市営葬儀を母体にして、うちもお葬式の簡素化を図ろうやないかということで、例えば、しきみはやめて紙しきみにする、また、お坊さんも、競い合って、うちはこちらにとかいうようなことを言うて呼んだのも、ご僧侶も3人までにするとかそういうふうにして、そして、基本は市営葬儀を採用するか、こういうことを自治会の中で取り決めをされて、今日まで、

この市営葬儀というものを使ってこられたと。そして、いまだにそれが存続されて今日まで生きているという自治会もたくさんあるように聞いています。

その中で、ただ、そのことになったのは、実は、お母ちゃんが、お父ちゃんが500万円、実は葬儀代に残してあんねんということやから、喪家としては全部そんなお金を、集まった人がどこでも持っていくわけにいかんから、お葬式に使ってあげたいということで、だんだん派手になってしまって、際限がなくなってくるということで、恐らくどこかで線引きをしようということで、その基本に市営葬儀を使おう、それ以外のところの祭壇は、それぞれ喪家の持っている考え方、また、亡くなった人への思い等含めて、それはその限りではないということで、一本の考え方で今日来ていると思うんです。

そういう中から、今回、10万円というのは、他社の、指定業者以外の方を利用できるところについては市民の皆さんにとっては大きなメリットでありますけれども、今度は、市営葬儀か市営葬儀でないかというところの線引きに今後入っていく中で、この問題が大きく惹起してくるのではないのかなという感じはします。

もう既に、私のところへ、何で今回こんな相談によく来られるのかなと思ったんですが、3人ほどの方が、えらいこっちゃでと、今度、市営葬儀で10万円、何か祭壇つくねえやったら別取る言うとんど、ちょっと誤解された解釈で言うてこられて、何回も私も担当課と大分詰めまして、事実のところはわかりまして、この10万円というのは、こういう葬式をされるのであれば、この際、市営葬儀から外してもらって一般葬儀、その

かわりに、祭壇はうちの祭壇を使ってくださいと、こういうことで、ひとつどこかで線引きをしていく必要があるんじゃないかなと。

その背景は、ちょっと聞くけど、市営葬儀で決まっている単価が三十数万円前後やのに、実際150万円も200万円もかかっている、あれ市営葬儀でつかという人もたくさんいると思うんですよ。また、この間、どこそこでやったら30万円ぐらいでバックで全部葬儀してもらえるのに、ちょっと摂津の葬儀は高過ぎませんかというような声も聞いてきてます。

その辺を踏まえて、市営葬儀のあり方、私は、この葬儀会館をつくったときに実は考えたんです。今までの祭壇をあのか館に持っていったんではさまにならない、やっぱり会館が広いから。せいぜい8畳の間ぐらいに飾り付けをするという、もともとの市営葬儀の祭壇だったんです。だから、あそこの場面にあうような、市で調達された祭壇をお使いになる。しかし、それでも貧弱なんですよ、あの祭壇だけでは、両わきがあいてしまって。そうすると、あの祭壇にふさわしい飾り付けをしていこうかと思うと、どんどんどんどんエスカレートというんですか、大きくなって、今日のような葬儀という形になってきたというふうに私は思ってます。

そこで、この祭壇を見られた人が、他市で葬式されたときにおっしゃったんですけれども、柴田さん、あの葬儀やったら、4、500万円かかってまっかたこういふ人があります。よそでやっぱりそれぐらいの価値のある祭壇なり雰囲気に見えたんでしょう。いや、そんなにかかってまへんで、せいぜい200万円まででしょうと、お寺さんも皆入れて。そういう感覚から見っていくと、あそこの祭壇で

出てきている葬儀というものが非常に華やかで価値があるというふうに市民がとっているという側面もあるわけですね。それが市営葬儀としていいのか悪いのかということは今後やっぱり議論していかないかんことになってくると思うんです。

せっかく提供した葬儀会館で、あれだけの飾り付けをして、ゴージャスなものをつくって、しかも安いコストでできたということであれば、喪家の人は一番喜んでおられるわけです。ただ、市営葬儀を利用しましたよいうて、本体は三十何万円なのに、あけてみたら150万円も200万円も、もっとかかってたというように実態とのギャップの中で、どこが市営葬儀なんや、ほんとに市営葬儀でこんだけかけていいのかという、また、他市との比較がどうなのかと、そういうことがやっぱり出てくるというふうに思っているわけです。

そこで、今後どのようにこの問題を、各地域の中で今まで取り組んでこられた市営葬儀というものを一つの母体にして取り組んでこられたところを一般葬儀に切りかえていくという説明をしていく中で、どのようなご努力をされていくのかということも含めて、一度聞いておきたいというふうに思います。

○嶋野委員長 福永参事。

○福永保健福祉部参事 委員ご指摘のように、むしろ安いのではないかというご意見もいただいております。ただ、先ほど、100人規模で150万円ぐらいだったと。これは、これまでの状況がそうであったというご報告をしましたが、今後、花スロープをやめるという方向性、それから、市営葬儀の本来の原則に立ち返って、簡素で低廉なという市営葬儀に立ち返ることにいたしましたら、大体100人ぐらいで100万円程度で市営葬

儀を挙げていただけるのではないかと見積もっております。

それは、市営葬儀の使用料は先ほど申し上げたようなお値段でございますが、メモリアルホールの使用料、それから通夜、それから粗供養等々はその市営葬儀の中には入ってございませんので、それらを積み重ねていきますと、お寺さんの謝礼は別で、100万円ぐらいになるのではないかとというふうに予測しております。

その程度でお葬儀を挙げていただけるようなことを目指して、市営葬儀業者とも今後も検討を重ねてまいりたい、協議を重ねてまいりたいと思っております。

加えまして、自治会等で市営葬儀をできるだけ使おうということをしていただいているというふうに私も伺っております。これまで、メモリアルホールができてから、市営葬儀という名のもとに、だんだんと華やかな、派手なお葬儀がそのまま行われておりましたのを、ここに至って、もといという形で、原理・原則に基づいたような形の簡素な式にしますということ、やはり市民の方にしっかりとわかっていただかないといけないと担当課も思っております。

今のところ、4月に自治会の総会をやられるということで、そちらでご理解を願う。それから、先ほど、他の委員からご指摘があったように、パンフレット等で、市営葬儀に含まれている中身はこれですと、それ以外にこのようなものが必要で、大まかに言うとこれぐらいのお値段になるかと思っておりますというようにわかりやすいパンフレット、PR用のパンフレットも用意したいと考えております。

それらで、今の花スロープをつけた葬儀を見なれた市民には少し寂しい葬儀に見えるかもしれませんが、ただ、喪家の

方や、それから参列の方々のお気持ちは、盛り花という形のお気持ちは、それはだめですということではなく、少しお花で飾ってあげたいというお気持ちは大事にしてお葬儀をとり行っていただけるようにしたいと考えております。

それから、あと、先ほど、1,800万円から2,200万円の赤字があるということをお話したんですが、そのほかに、ランニングコストのお話は、1,800万円から2,200万円ということなんですが、メモリアルホールを建てたときの起債償還額というのがございまして、これは別途、平成16年度ですと、1億5,968万3,468円というような起債を償還しておりますので、こちらの方は、もう本当に市がそのまま税金で負担しているという現状にございますこともご報告させていただきます。

○嶋野委員長 阪口代理。

○阪口健康推進課長代理 先ほどのご答弁の中で、遺影写真とドライアイスを今回の見直しにあわせて改善をさせていただきましたということでお答え申し上げておりますけれども、今回の見直しにつきましては、指定業者5社あるんですけれども、この業者さんといろいろと事細かに協議を進めてまいりました。その中で、これ本来、この規格というのは昭和37年に、当時の町時代に条例ができて発足したというふうにあるんですけれども、その当時、ひつぎというのは本当の木材のひつぎだけやったと。その中には、現在では防水紙やとか、ひつぎ用の敷物やとか、あるいは納棺用のしきみ、こういったものが、現在はもう時代おくれといたしますか、もう既に規格の中に入っておるといってございまして、これらの物品を外すとかいうことで、数十項目あるんですけれども、事細かに原価計算

をいたしまして、不必要なものは除く。開式前に集合写真をよくお撮りになるんですけれども、これもほとんどもうご利用がないということでしたので、これも外して、遺影写真をつけ加えさせていただいたということでもあります。

それと、説明の中で、ちょっと1点不足やったと思うんで、つけ加えさせていただきますけれども、遺影写真につきましてはモノクロ写真で市営葬儀の中に入れております。それで、先ほど来、業者さんとの協議ということを申し上げましたけれども、この中で、一応、今の素案では、8,000円プラス消費税、これをオンすることによってカラー写真に規格がえできると。この8,000円につきましても、まだまだ若干未定稿な部分があるんですけれども、パンフレットの形で見える形にして、市民の方に周知を図ってまいりたいというふうに考えております。

○嶋野委員長 柴田委員。

○柴田委員 余りお葬式の話をお口をとがらせてやるのもいかなもんかと思うんですが、今ご答弁いただきましたように、今回のこの条例が出て、いよいよ実施ということになりますと、先ほど申し上げたように、今度は、一番ネックになってくるのは、市営葬儀扱いでいくのか、それとも一般葬儀へ切りかえてもらうのかということですね。

また同じことを繰り返しますけれども、近く自治会などは、派手になることの一つの歯どめとして、せめて市が持っている制度、それは基本に使おうじゃないかということで市営葬儀を採用するということを決めてこられて、今日までずっとこられている。そのことによって、しきみも紙しきみ、そして、お寺さんも何人とかいうようなことも関連して決めてこ

られている。そういう中での決め手がまだある中に、これは自治会の一応申し合わせです。恐らく、決定してこれでやれへんかったら自治会やめてもらいますよというような、そんな大そうなことじゃないと思うんですけれども、自治会の申し合わせの中で、そういうものが今まだ存在しているということ。

そこらを含めた中で、今度そのことが、祭壇使ってくれはったら、スロープであろうと、それからいろいろな花飾りであろうと何であろうと、それはもう喪家の自由にしておくんはなはれなと、その市営葬儀という基本だけ使わせてくださいなという考え方が出てきたときに、いや、派手になるやつは市民の目から見てぐあいが悪いからそれはあきまへんねやという、そのところの説明が今後大変難しいんではないかなというふうに私は思うし、またその辺のやっぱり議論というのも出てくるんだろうというふうに思ってます。

そういうことも含めて、今後の葬儀のあり方については、十分自治会なり、その関係する人と話をして、やっぱり話を進めてほしいなと。市営葬儀というのは非常に質素で、そして心のこもった、葬儀というのは最終的にはやっぱり心なんですよ。だから、あるところの葬儀なんか行ってますと、非常に何か粗雑というのか、摂津市内の葬儀を見てると、よそのお葬式に行ったときに、非常にその格差を感ずることはあります。この葬儀のあり方が正しいのかどうかというの、摂津の葬儀というのは、ある意味では、そういうふうに練り上げてこられたという向きもあるんですよ。だから、他市へ行けばもっと簡素に淡々としてます。例えば、山田なんかへ行きますとも、お通夜なんかでもあれだけのことはしない。ちょっと所変われば違うんだなというこ

とも感じますけど。

そういう意味で、摂津の葬儀というものが、ある意味で葬儀会館を中心にして、いいものが残ってきたという面もあるわけですから、この辺も十分やっぱり話し合いの中に入れてもらいながら、今後、行政としても、やっぱり市民からの問題提起に対しても対応していかなあかんわけですから、そこらも含めて取り組みをしていただきたい。

最近、ひとつこういう問題も出てくると思うんですよ。市営葬儀の中に含まれてる棺おけというんですか、それは、先般ちょっと行きましたら、それだけ彫り物がぱあっと入って、うちの祭壇は、大分茶色にいろいろあせてきてて、納棺の棺と大分格差があつてという感じも受けましたので、その辺のことも含めて、十分今後話をさせていただくように、自治会の中のトラブル等につきましても理解をさせていただくように、きょうはここで改めてお願いをして、私の質問を終わります。

○嶋野委員長 安藤委員。

○安藤委員 今論議が深められてきている中で、重ならないように質問したいと思います。

市営葬儀、葬儀会館、どちらも市民の利用料、使用料が上がるということでございます。やはり市民の方から、この市営葬儀に対して問題意識等いろいろな意見が出されてくるといえば、今、他の委員もおっしゃっていましたが、市営葬儀の支払いの透明性、何にどのぐらいかかっているのか。市営葬儀、実際請求が来たときには非常に莫大に広がって、請求が大きくなっているということで、その透明性を市民の方は求められているのではないかなというふうに思います。

同時に、先ほどからも議論があります

ように、市営葬儀は、本来の質素で安価な葬儀をしていくということが二つあると思います。

今回の市営葬儀の1万円の値上げ、いろいろとご説明をいただいているわけですが、花スロープのお話がありましたが、花スロープをつける場合は、市営葬儀の枠から外れて一般の葬儀としてやってくださいというようなことでやられていくというようなお話もあったわけですが、これ、市民の皆さんに理解をいただくというようなことをどのように、連合自治会等の方でも説明をされていくというふうにおっしゃっているわけですが、透明性を確保していくということと、それから、市民の皆さんに市営葬儀というものを理解していただくということ、これなかなか難しい問題があると思うんです。今までの認識から、市営葬儀のつもりでやろうと思って、花スロープつけたらこれになりますよということになると、一般葬儀になりますと、一体どのぐらい、今までの市営葬儀から比べて、一般的に言いますとどのぐらいの費用がかかってくるのかというのは認識されておられるのか、その点ちょっとお聞かせをいただきたいなというふうに思います。

先ほども、ご答弁の中に、葬儀会館の方に移るわけですが、葬儀というのは、福祉というよりは民間でもできることというようなご答弁もございました。しかし、市営葬儀がつくられ、そして、葬儀会館が平成10年につくられた中で、やはりこの世に生を受けてから人生の終わりを迎えるまで、これは人としての生き方にかかわる問題であって、市営葬儀という考え方は、まさにそういう福祉の観点から、華美にならない、心のこもった葬儀をやるという観点から生み出され

てきているものではないかなというふうに思うわけです。

そういう点からいきまして、葬儀会館の、先ほど、一定の応分の負担というふうなお話がありました。この一定の応分の負担というお話というのが、葬儀会館の使用料が、前回平成13年のときに引き上げられているかと思いますが、そのときにも議論がされていきました。きちんとしたそのときの議論をお聞きしていますと、最低の維持管理経費の3分の1というのを一つの目安にするというふうにご答弁があったわけですが、今回の値上げというのは、平成13年の値上げの当時と比べても、最低の維持管理経費というのが上がってきたというふうに認識すればいいのでしょうか。

それから、先ほど、維持管理費が1,800万円ほどだというふうなお話がありましたが、正確に、この間の年を追っての数字もお示しをいただけたらと思います。特に、平成10年にメモリアルホールができて、そして、平成13年には値上げもされました。そうした中で、恐らく葬儀使用料の方も上がって、収入の方も増えてきていると思います。もちろん維持管理費についてもさまざまな費用がかかってくるということで、引き上げられていっているのかなと想像するわけですが、その点の数字も、ちょっと具体的に、正確な数字として、一回この場で示していただきたいと思います。

○嶋野委員長 福永参事。

○福永保健福祉部参事 まず、第1点目の、一般葬になるとどれぐらいの費用がかかると認識しているかという点についてでございますが、祭壇の貸し出しを10万円ということで安く、一般の民間の葬儀業者の祭壇料よりはかなり安い値段で抑えられているかと思えます。このこ

とにより、これまでの、大体100人規模で150万円から200万円ぐらい、今までの市営葬儀のお値段と同じ程度で抑えられるように努力をしたいと。もちろん、業者とのいろいろと調整等々必要でございますが、そのようには思っております。

それから、メモリアルホールのランニングコストでございますが、維持管理費、歳出でございますが、平成10年度が4,969万8,548円でございます。13年度は4,619万3,222円でございます。16年度が4,436万5,800円ということで、少しその年の修理だとか、いろいろと細かいところで多少の前後はございますが、18年度は4,769万9,000円と見込んでおります。

その中で、収入の方が、平成10年度で1,185万200円、13年度で2,423万200円、16年度で2,575万3,000円、葬儀の件数が徐々に増えてきておりますので、収入は徐々にですが上がっております。

最初にご説明しました1,800万円から2,200万円ぐらいというのは、ランニングコストのうちの赤字部分ということでご理解願いたいと思います。

○嶋野委員長 安藤委員。

○安藤委員 まず、市営葬儀の方ですけども、花スロープをつけて、市営葬儀から一般葬儀に移行しても、その総費用が市営葬儀と大きく差がないように指導するというふうにはちょっと私理解したわけですけども、それならば、なおさら市営葬儀という理念というか、こういった意味合いのものを市として税金の中で皆さんに提供しているんだということを、市民の皆さんにやっぱり理解をしていただくということが本当に大事だというふ

うに思うんです。もちろん、葬儀を挙げるといことは、その方の生き方や遺族の方々の思いをどのように形としてあらわすかという問題でありますから、これ市営葬儀にしなきゃいけないとか、一般葬儀にしなきゃいけないというのは、恐らくそれぞれの方々の選択のものになると思います。しかし、一般の方々が、低廉で上質な市営葬儀を行っていくということで市営葬儀があるわけですから、それを行っていくという意味合いを理解してもらおうことと、今回、値上げも一緒になってしまっているということ、ここは、非常に市民としては、逆に透明性という部分が損なわれるのではないかなというふうに思うわけです。市営葬儀の意味合い、こういったもので私たちはやっていくんだということを市民の皆さんに理解をしていただいた上で、今後、市民の皆さんがどのような選択をされていくのかということ、やっぱり注視をしていく中で値上げを提案していくというのならまだちょっと理解できるんですけども、透明性を進める、理解を得ていく、同時に、じゃあ市営葬儀だけでええわという方が今までの市営葬儀よりも値上げになってしまうということなんですね。その辺のギャップというんでしょうか、その点いかがでしょうか、ちょっと改めてお聞かせいただきたいと思います。

それから、メモリアルホールについてですけども、今お示しをいただきましたが、収入が、利用者が増えてきたこと、それから、平成13年度に使用料も引き上げられたということで上がってきています。維持管理費については、その年、その年、大きなものがあつたりすれば、上がったたり下がったりすることもあるかと思っておりますけれども、おおむね平成10年、平成13年、平成16年と下がって

きているわけですから、先ほどお示された市の負担額の部分、赤字の部分というのは、単純に考えたら小さくなってきているというふうに思うわけです。

そういう観点から、今回の値上げ、応分の負担という考え方、今までとどう違いがあるのかどうか、変えられたのか、応分の負担というのはどういう根拠に基づいて示されているのか、それをちょっとお聞かせいただけないでしょうか。

○嶋野委員長 福永参事。

○福永保健福祉部参事 まず、透明性が損なわれているのではないかというご指摘でございますが、確かに、値上げと、それから市営葬儀の本来に立ち返るといふことと、今回同時に提案させていただいておりますので、わかりにくい面もあるかとは思いますが、そこはご理解を願ひまして、市民の方にできるだけ、これまで、先ほどからご説明した8,000円、どこかで市の収入になっているという、そこも不透明であるだとか、それから、もうちょっと安いと思ってたんだけれども、終わってみるとすごく高いものであったというような、何がどの程度のお値段がかかっているのかなかなかわかりづらいというようなところも含めまして、パンフレット、それから市民への説明等々で、できるだけ透明性を保つように努力してまいりたいと思っております。

それから、応分の負担の考え方でございますが、確かに過去において、大体3分の1程度というようなご答弁をした時期もございました。それから徐々に、葬儀だけではないんですけれども、50%程度というような基準の説明も一時あったかとは思いますが、現在のところ、そのほかの施設とは、葬儀施設というのは多少違うというふうに認識しております。

というのが、先ほどもご説明しましたように、市がどうしてもしないといけない施設というわけではなく、民間でもできる施設を、市民の利便のために市がやっているというその考え方の根本のところ、今回の応分の負担という考え方の基礎となっているというふうにご理解願ひたいと思っております。

○嶋野委員長 安藤委員。

○安藤委員 市営葬儀については、やっぱり利用者サイドからも、それから事業者さんにとっても、それから摂津市としても、市営葬儀のあり方そのものが、やっぱり一たん立ちどまって見直しをする、これ大事なことだと思いますし、それだけ大きな改革と言ってもいいようなことだと思うわけです。

そうした中で、今回こういうような市営葬儀というものを厳格化していくということで、市営葬儀の割合が何割か、ちょっとこれも一緒にお示しただけならありがたいんですけども、今後、こういう市営葬儀から一般葬儀の比率が上がってくることも考えられるのではないかと。もしくは、そうした市営葬儀と一般葬儀の問題について、利用者の方々からいろいろな思いからいろいろな考え方も出されてくることも考えられるかと思うわけです。

そういう中で、やっぱり利用者サイド、市民サイドに立った場合に、市営葬儀というもののあり方をまず理解していただく、そうしたもので透明性を図っていくんだというものをまず私は示すべきだと思うんですね。それが引き上げというものになるわけです。今までの簡素な市営葬儀というのを理解されている多くの市民の皆さんが市営葬儀を行うときに、あ、今度は1万円ほど上がってしまってる、今までは花スロープをつけたら、それに

上乘せだった部分が、今度は一般葬儀になってと、これは、また請求上がったときに、これ何やということで混乱を招くということも私十分想像できるわけです。その混乱がないように、これから周知徹底されるわけですがけれども、だからこそ、私、この大事な改革というか、精神を変えていくという上では、値上げをセットでやるというのはちょっと乱暴じゃないかなという気がします。

その点だけ、最後に、市営葬儀についてはそれだけお答えください。

それから、葬儀会館の使用料ですがけれども、13年の議事録をひも解いてみますと、経費の4分の1から3分の1にさせてくださいというような議論だったんですね。その3分の1というのは一体どこから、応分の負担がなぜ3分の1なのかという根拠というのがはっきり示されてなかったんです。

今回、今、参事のお話を聞くと、今度は2分の1というようなお話も少しお示しされたわけですがけれども、この葬儀会館というのは、先ほども、かなりのお金を起債してやられているわけですから、これはもう市民の福祉の一環として、市民の願いを受けるという形で、市の施策としてやられていることであって、やっぱり市民の皆さんが利用しやすいようにやっていくという上では、受益者負担、応分の負担という考え方はきちりとしていかないと、時代の流れにあって、4分の1です、3分の1です、2分の1です、そのうち、受益者負担、これはもう4分の3ですとか、どんどんどんどん市の方の都合によって引き上げられていくということでいきますと、葬儀会館を建てたときのその意図というんでしょうか、ねらいというんでしょうか、そういうものからどんどんどんどん逸脱していくこと

になりはしないか。あえて、市が税金で維持経費も、これは市民のためということで、これ当然のことだと思いますけれども、その部分の応分の負担という考え方がきちんと示されないまま引き上げをされていく、負担が増えていくということでは、およそこれは市営葬儀とは別個に、市民への説明責任と、それから透明性という部分では非常によくはないことだと思いますけれども、その点についてご答弁お願いします。

○嶋野委員長 応分の負担の点につきましては、助役から後ほどご答弁いただきます。

それでは、市営葬儀の割合等につきまして、参事からご答弁いただけますか。

福永参事。

○福永保健福祉部参事 市営葬儀の割合でございますが、全葬儀件数の大体約7割でございます。メモリアルホールを使っている葬儀の中では9割でございます。

それから、一般葬に流れるのではないかという、懐疑と申しますか、それでございますが、そのところは、本当に市民の方に、市営葬儀とはこういうものであるということをしっかりと理解していただく中で、また、葬儀業者の方々にも、そのように流れないようにということをご協力していただく中でというふうにか申し上げられないんですが。

もう1点、値上げと一緒にというのは乱暴ではないかというご質問なんですが、17年の3月議会のときにいろいろと議論が紛糾いたしまして、それで、市営葬儀のあり方そのものを根本から見直す。業者とも、何回にもわたるアンケートもとらせていただいたり、それから、近隣各市の状況も教えていただいたり、いろいろと調査を行ってきたわけですが、そのときに、市営葬儀が昭和60

年から値上げをされていないという、これを据え置いたままで花スロープ等を制限して、本来のというところにはどうしても立てなかったというのが現状でございます。

結局、16万5,500円では、今の市営葬儀のときに係る人件費だとかそのあたりが賄えないというのが現状として把握されてきましたので、そこをしっかりと保障することによって、そのほかの部分、不透明な部分を透明にしていくというような協議を重ねてまいりました。

そういう状況でございます。

○嶋野委員長 小野助役。

○小野助役 この議論は、今、福永参事が言いましたように、当時、祭壇使用の8,000円を、業界と話をしてあと5,500円積んだんですが。1万3,500円を市が歳入にすると。こういうことの中で、もう一度根本的な議論をして、こういうふうになすべきだということを感じております。

それで、私も、今日まで来るまでに、もともと、例えばここに一つ例があるんですが、数多くのクレームが入ってまいりました。それで、きょう、柴田委員の話の聞いてって、そうだなと思ったことが一つ確かあります。華美にならないということで10万円、確かにこれ10万円安いんですが、それを市民の方にどう理解していただけるかとなりますと、それでもいいんだと。例えば、ここに持つておる中で、先ほど、上村委員も100万円程度と言いましたけれども、花スロープで大体ひとつ、クレームによると、花スロープで42万円と書いとるんですね、これだけで。そうしますと、我々が聞いておったんは、葬儀があって非常に混乱していると。そのときに任せたと。そうしたら、花がびっくりするような額になっ

ておって、まさかと、それから、お布施も強要されることを言われたとか言われないとか、こういう話がたくさん私どもに入ってまいりました。

そういうことからすれば、一般葬と花スロープとを使用されるところを分けなかったら、これはいいものをつくって、市が2,000万円出しておりながら、そして、それにもかかわらず、市の方にクレームが来るということは一体どういふことなんだろうかとということから始まってのですね。

そのときに、現在の、今言いましたような飾り付けにしても値上げさせてもらう。これを、私ども聞いておったんですが、業界は、いわゆる市営葬儀だけではこれはとってもじゃないが賄えないと。だから、ある意味で花もつけていただかないと赤字が出るんだと。これは、私も、5年も6年も前から、いつも会う度にそう言われてまいりました。これも事実あると思うんですね。だから、その適正な価格でやってもらうことが一つ。業界も泣いてもうたら困る。かといって、それを補完するために花スロープでも、クレームに書いてますように、42万円が一気に請求がくると。

ここにも一つあるんですが、先ほど、委員おっしゃったように、ここに書いてあるのは市営葬儀の内容をもっと透明化してくださいよと、こう書いてあるんですよね。その中に書いてあるのは、高いランクを施主にはっきり言うてない、市営葬儀の内容どおりしてない、花がびっくりした、ドライアイスがどうのと書いてあるんですね。それからあとここに書いてあるのは、ドライアイスも確かにこれ、遺影写真は3万7,000円、ドライアイス4万円とこう書いてあるんです。これで7万7,000円ですね。こんな

高いものとは思わなかったと、ここにクレームの資料持ってるんですが、そういうことも考えながら、まずはそういうようなことをやらせていただくと。それから、業者においても、今申し上げたように、それならば、それに頼らない方法でやってもらわなあかんと。そのためには、一定の形の値上げも、一定の他市を見ながら考えていくことが一つと。

それから、市民にとっても、こういうことについてのクレームを減らしていかなきゃならないということの一つは、大きいのが花スロープであります、これは事実であります。私どもの市長にも、私どもが受けた、一番の問題が花でございました、やはり。花の形はよかったんだけど、後からもう法外な値段で、これほど高いとはということで、これ多くありました。

それぞれの中で、今担当が申し上げたとおりでございまして、そういう意味では、市民にとってもクレームを減らす方法としての形、北摂の状況なり申し上げました。そういうことも考えました。

それから、市にとりましても、この財政状況の中で、一定のこのランニングコストはどうあるべきかということがありました。それで、今後これは、ここでは明確に答えられませんが、要は、13年当時、3分の1、このときも、確かに今おっしゃっているように、この議論すごくありました。3分の1の根拠を示せと、なぜ3分の1なんだと。そりゃ確かに3分の1というのは10%の上でしょうし、2割でもいいんですが、我々は、そのランニングコストの3分の1、光熱水費、人件費とかいろいろ入れて、その部分の3分の1をお願いしたいと。現実には、それよりも大きな形の改定をいたしておりませんが、市としても2分の1という

考えを持っているのは間違いありません。かといって、その2分の1が正しいのかと、どの根拠だと言われても、今直ちに私としても、この根拠だと、しかし、通常の形として、そういうようなコスト的に、例えば、このときに、15年の業務委託料ですが、人件費約700万円、事務費がこれの約10%で70万円、それから、光熱水費が約800万円、それから、土地の借り入れ等の費用がこれ約650万円とか。このときに議論があったのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと、明々とつけてんねんけども、要らんとこは消したらもっと安くなるのではないかと、こういう議論も確かに私は聞いておりました。そういうことも含めて、私ども、今2分の1の中で計算をした中では、やはり市の方の中でもそういうことをお願いしたいなど。

ただ、申し上げたいのは、ここで議論あったように、思いましたことが一つ、二つあります。今、柴田委員おっしゃったように、これをいいものとしていっても、市民に言ったときに、いや、うちは花スロープあってもいいんだと、それ何で10万円取られんねやと、こういう議論だと思っんですね。この議論が反対に起こる。それはよほど、確かにこれはもう一度担当と議論いたしまして、この自治会等に入るときに、これよほどの形できちっとした意味合い等々を、私はクレームのことを聞いておりましたから、そういうことをもう一度整理しなきゃならないことが一つ。

それから、2分の1というのは、私ども、これ平成10年1月に開業いたしておりますから、やはり10年回りで回ってくるんじゃないかと。例えば、私行きましたときに、あそこは相当もう線香や

ろうそく等で曇っておると、あれももうじきやりかえなあかんのちゃうのと。壁面ですね、あの上の方が曇っておると。そういうことが、やはりもう10年たってまいりますと、もうじき考えなならない。今回も、こういうことさせていただくことについては、従前から言われておりました自転車の雨よけ、もっと言えば、あの水路に、神安土地改良区と話してて前から言われてますように、市の財源があれば、もう少し駐車を、学校に置くとか、民間企業に貸してもらおうとかじゃなくて、もう少し駐車スペースをどう確保できるのかというようなことも課題を持っております。

そんなことも入れながら、私どもにしたら明確な2分の1の理由ということは答えられませんが、他市の葬儀費用等もかんがみまして、この2分の1ということを目安にしながらやってまいりました。これは、もう少し内部でも議論いたしたいなど。

これについては、今後における葬儀会館の維持補修を含めて、もう10年が来ますので、それらのことももう少し具体的に今後検討した中で、市民の方にもお願いするものはお願いし、説明責任を果たすようにやってまいりたいというふうに考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

○嶋野委員長 安藤委員。

○安藤委員 今、助役の方からも答弁をいただいたわけですが、葬儀というのは、先ほども申し上げましたように、本当に人生最後、その方にとっても人生最後をどのように迎えるのか。生きている我々としても、親戚、親、兄弟、いろいろな人を送っていくことにもなりますから、これは人生、生きていく中では、生活の中では切っても切れない大事なも

のであります。

いろいろ市民のニーズも考え方も多様化している中で、葬儀に対する考え方というのもやっぱり多様化している中で、今回、あえて市営葬儀という考え方に立ち戻って、簡素で低廉なものを市民の皆さんに提供していくんだと、そういうようなことをお話いただいておりますので、私もやっぱりなおさら、いろいろな形で政策を決めるときに、パブリックコメントを採用したりとかいろいろなやり方、今ありますよね。葬儀というものについて、やっぱり市民の皆さんと議論する中で、今もいろいろな問題点、課題もたくさんあった。これから詰めていかなければならない課題もあるというふうに助役の方からお答えいただいたわけですが、そうした積み上げをやっていくということが先にないと、混乱ということに対してより説明が困難になってくるんじゃないかなということも私も本当に思うわけで、その点は、やっぱり値上げしてから、これから考えていくというやり方が私はどうも理解できないなということだけ申し上げておきたいと思っております。

それから、応分の負担の論議なんですけれども、ここでいろいろ応分の負担の根拠どうだというようなことを詰めても、助役も、今しっかりこうだというのは特にないというようなお話もありましたから、これ以上は言いませんけれども、今回の葬儀会館の使用料の値上げというのは、じゃあ、その応分の負担というのはどのぐらいの規定でやっておられるのかということと、それから、葬儀会館の使用料の値上げで、全体で収入増どのぐらいになるか、それだけちょっと基礎的な資料としてお示しをいただきたいなと思っております。

それから、もう1点、建設のときの起債償還、これはもう全額市の方でやって、葬儀会館の使用料には入っていないというふうにお話ありましたけれども、今後、通常の維持管理費とは別個に、今、助役からもお話ありましたけれども、葬儀会館をリニューアルであったり、壁紙の張りかえであったり、10年ほど経過した段階で新たに改修を加えなければいけないと、そういったものまで受益者負担、応分の負担の中に加えられるのかどうか、その辺の考え方だけ最後にお聞きしておきたいと思います。

これで質問終わりますので、よろしくお願ひします。

○嶋野委員長 阪口代理。

○阪口健康推進課長代理 今回、ご提案させていただいております葬儀会館の使用料の改定、1万5,000円のご負担をお願いしているわけですが、これの350件分を予定しております。増額分といたしましては525万円というところでございます。

それと、今回、10万円で祭壇をお使いいただくということでご提案をさせていただいておりますが、これは前年度はなかった制度でございますので、この分、一応300万円を計上させていただきます。一般葬として予定件数を立てております。

○嶋野委員長 小野助役。

○小野助役 ランニングコストということでございますが、もうその名のとおり、人件費なり光熱水費なり、そういったことでの2分の1の負担をお願いしていきたいということでもあります。

福永参事言いました、そういう背景的なものもありますということで、市の政策全体として、そういうなものを含めていくという考え方というのにはまだ立っ

ておりません。これは、やはり税で賄っている市としてやっていくということでございます。

ただ、私ども、これから考えなければならぬのは、ちょっと抜かっておったんですが、市の施設全体ですが、建物を建てれば、必ずそれは修理が回ってくると、これで今悩んでおります。集会所にしろ何にしろ、これからこの問題が市全体の公共施設の大きな問題であります。

そういったことでは、いわゆる必ず補修を、大規模改修、そういうことを、これからどういうふうに定期的に行っていくのかということを考えてとき、一定その費用をどう賄いができるか、税が上がっていけばそれでいいんですが、そういうことの中身も含めて、これ財政的な見通しもありますので、これは、私、これからの課題として、これは問題提起としてはさせていただきたいなと。これをどうする、こうするはまだ考えておりませんが、ランニングコストだけでそれは回れるかどうかということについては、ちょっとなかなか今の状況ではできない。これは、市でもう少し議論した上で、いつかの時期にまた議会とも十分ご議論させていただきたいなということは、個人的にはそう思っております。

今のところは、ランニングコストはそういう考え方で処理をいたしております。

○嶋野委員長 ほかに質疑ございますでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○嶋野委員長 以上で質疑を終わります。

暫時休憩します。

(午前11時55分 休憩)

(午後 1時 2分 再開)

○嶋野委員長 再開いたします。

議案第3号、議案第4号、議案第11号、議案第12号及び議案第34号の審

査を行います。

本5件のうち、議案第4号、議案第11号、議案第12号及び議案第34号については補足説明を省略し、議案第3号について補足説明を求めます。

保健福祉部長。

○堀口保健福祉部長 議案第3号、平成18年度摂津市国民健康保険特別会計予算につきまして補足説明をさせていただきます。

まず、歳入でございますが、8ページ、款1、国民健康保険料、項1、国民健康保険、目1、一般被保険者国民保険料は、前年度に比べ2.2%の増となっており、収納率は、現年度分92%、滞納繰越分13%を見込んでおります。目2、退職被保険者等国民健康保険料は、被保険者数の伸びを反映し、前年度に比べ20%の増となっており、収納率は、現年度分97%、滞納繰越分18%を見込んでおります。

なお、平成18年度の国民健康保険料につきましては、去る12月27日及び1月23日に、国民健康保険運営協議会に対しまして、賦課割合の変更及び介護納付金分保険料賦課限度額の改定について諮問を行い、2月2日付でご答申がありましたので、その答申を尊重する中、医療分保険料につきましては、所得割料率を1,000分の84.2、均等割年額3万3,600円、平等割年額2万7,600円、平均改定率7.45%、介護納付金分保険料につきましては、所得割料率を1,000分の16、均等割年額9,360円、平等割年額5,400円、平均改定率9.81%への改定を見込ませていただいております。

9ページ、款2、使用料及び手数料、項1、手数料、目1、督促手数料は前年度と同額となっております。

款3、国庫支出金、項1、国庫負担金、目1、療養給付費等負担金は、前年度に比べ6.7%の減となっております。これは、三位一体改革に伴い、国庫負担率が36%から34%に切り下げとなる見込みのため減額となるものでございます。目2、高額医療費共同事業負担金は、前年度に比べ16.2%の減となっております。これは、大阪府国民健康保険団体連合会に対する高額医療費共同事業拠出金の減に伴い、その4分の1の法定国庫負担分について減額が見込まれるものでございます。

10ページ、項2、国庫補助金、目1、財政調整交付金は、前年度と同額となっております。

款4、療養給付費交付金、項1、療養給付費交付金、目1、療養給付費交付金は、前年度に比べ4.4%の増となっております。これは、退職被保険者の増及び前期高齢者の増に伴う療養諸費及び高額療養費の増による交付金の増によるものでございます。

11ページ、款5、府支出金、項1、府負担金、目1、高額医療費共同事業負担金は、前年度に比べ16.2%の減となっております。これは、先ほどの国庫負担金の項目でご説明いたしましたが、高額医療費共同事業拠出金の減に伴い減額が見込まれるものでございます。項2、府補助金、目1、事業助成補助金は、前年度に比べ23.2%、目2、老人医療波及分補助金は、前年度に比べ83.5%、目3、障害者医療波及分補助金は、前年度に比べ51.5%の増となっており、いずれも府制度の見直しに伴う縮減が当初見込みよりも小幅にとどまったことによる増額でございます。

12ページ、目4、財政調整交付金は、前年度に比べ43.4%の増となっております。

ります。これは、三位一体改革により療養給付費国庫負担金の交付率が36%から34%に2%縮減され、縮減分の2%相当分について、財政調整交付金に振りかわることによる増が主なものとなっております。

款6、共同事業交付金、項1、共同事業交付金、目1、共同事業交付金は、拠出額の減少に伴い、前年度に比べ16.2%の減となっております。

13ページ、款7、繰入金、項1、一般会計繰入金、目1、一般会計繰入金は、前年度に比べ0.5%の増額でございます。これは、出産育児一時金の改定に伴う繰入金の増が主なものとなっております。目2、保険基盤安定繰入金は、保険料賦課割合の変更に伴い、前年度に比べ0.1%の増となっております。

款8、諸収入、項1、市預金利子、目1、市預金利子は前年度と同額となっております。

14ページ、項2、雑入、目1、一般被保険者第三者納付金、目2、退職被保険者等第三者納付金、目3、一般被保険者返納金、目4、退職被保険者等返納金については、過去の実績を勘案し予算額を調整させていただいております。目5、雑入につきましては、前年度に比べ10%減を見込んでおります。

次に、歳出でございますが、15ページ、款1、総務費、項1、総務管理費、目1、一般管理費は、前年度に比べ2.4%の減となっております。これは、国保システム改造委託料504万円の増の一方、給与改定に伴い人件費の減が見込まれることによるものでございます。

16ページ、目2、連合会負担金は、前年度に比べ0.3%、7,000円の増、目3、市町村部会負担金は、前年度に比べ15.8%の減となっております。

17ページ、項2、徴収費、目1、賦課徴収費は、前年度に比べ0.9%の増となっております。これは前納報奨金の増が主なものとなっております。

18ページ、項3、運営協議会費、目1、運営協議会費は、前年度と同額となっております。

19ページ、款2、保険給付費、項1、療養諸費、目1、一般被保険者療養給付費は、前年度に比べ3.1%の増となっております。これは、一般被保険者2万1,177人に係る療養給付費で、一人当たりの費用額は、若人が17万1,454円、前期高齢者が50万795円、乳児が26万1,673円を見込んでおります。目2、退職被保険者等療養給付費は、前年度に比べ7.7%の増となっております。これは、退職被保険者等6,810人、一人当たりの費用額は37万5,681円、前期高齢者分として46万6,556円を見込んでおり、大きな伸びを示しておりますのは、被保険者の増及び前期高齢者の増に伴うものでございます。目3、一般被保険者療養費は、前年度に比べ15.1%の増、目4、退職被保険者等療養費は、前年度に比べ33.2%の増となっており、これは、近年、柔整分の増加が著しく、これに加えて、退職被保険者の増を見込んだことによるものでございます。目5、審査支払手数料は、前年度に比べ2.7%の増となっており、審査支払い件数の増を見込んだことによるものでございます。

20ページ、項2、高額療養費、目1、一般被保険者高額療養費は、前年度に比べ13.1%の増、目2、退職被保険者等高額療養費は、前年度に比べ13.1%の増となっております。項3、移送費、目1、一般被保険者移送費、目2、退職被保険者等移送費は、前年度と同額となつ

ております。

21ページ、項4、出産育児諸費、目1、出産育児一時金は、前年度に比べ8.3%の増となっております。これは、10月以降の出産育児一時金を35万円に増額することに伴うものでございます。項5、葬祭諸費、目1、葬祭費は、前年度に比べ10%の増となっております。これは、葬祭件数の増を見込んだことによるものでございます。

22ページ、項6、精神・結核医療給付費、目1、精神・結核医療給付金は、前年度に比べ84.7%の増となっております。これは、障害者自立支援法の施行に伴い、従来、精神障害者の通院医療費の自己負担分については5%でございましたが、10%に改定されることとなったため、引き続き自己負担分を国保において負担を継続できるよう措置いたしたものでございます。

款3、老人保健拠出金、項1、老人保健拠出金、目1、老人保健医療費拠出金は、前年度に比べ9.7%の減となっております。これは、平成18年度概算医療費拠出金が1億1,402万円減少したことに加え、前々年度精算分も8,334万円減となったことによるものでございます。目2、老人保健事務費拠出金は、前年度に比べ1.9%の増となっております。これは審査支払い件数の増によるものが主な物でございます。

23ページ、款4、介護納付金、項1、介護納付金、目1、介護納付金は、前年度に比べ0.1%の減となっております。これは、一人当たり拠出額が2,500円増の4万7,700円に改定される見込みでございますが、前々年度精算拠出額の減少に加え、第2号被保険者数の減少に伴い、総額では減少となるものでございます。

24ページ、款5、共同事業拠出金、項1、共同事業拠出金、目1、高額医療費共同事業医療費拠出金は、前年度に比べ16.2%の減となっております。これは、高額医療費共同事業の対象医療費が、1件70万円以上から80万円以上に狭められたため、大阪府としての基準拠出金総額が減少したことにより減となるものでございます。次に、目2、高額医療費共同事業事務費拠出金は、前年度に比べ1.9%の減となっております。目3、その他共同事業事務費拠出金は前年度と同額となっております。

25ページ、款6、保健施設費、項1、保健施設費、目1、保健衛生普及費は、前年度に比べ66.4%の増となっております。これは、新たに30歳以上40歳未満の国保被保険者を対象に、摂津市保健センターにおいて基本健診を実施することに伴う増が主なものとなっております。

26ページ、款7、諸支出金、項1、償還金及び還付加算金、目1、一般被保険者保険料還付金及び目2、退職被保険者等保険料還付金、目3、償還金につきましては、前年度と同額となっております。

27ページ、款8、予備費、項1、予備費、目1、予備費は、前年度と同額となっております。

以上、予算内容の補足説明とさせていただきます。

○嶋野委員長 説明が終わり、質疑に入ります。

村上委員。

○村上委員 先ほど、補足説明等いただきました議案第3号の関係なんですけれども、4ページ、款2の保険給付費ですね、58億1,600万円という形で計上されていて、前年よりも3.3億円増

となっておりますということなんですけれども、この増の理由と、歳出額の合計額なんですけれども、平成16年の決算を見ると79億円、それから、17年の当初で84億円、それから、今回、議案第11号で補正予算が上がっているんですけれども、補正ということで87億円。平成18年の当初予算として85億円に、ちょっと2億円ぐらい、この補正額から減っているということで、過去はずっと2億円、3億円という形で増えてきているんですけれども、今後の給付費に対しての考え方、その伸びとかをちょっとお聞かせ願いたいと思います。

それから、これはちょっと確認なんですけれども、先ほど、補足説明いただきました議案第3号の、25ページの款6、保健施設費、項1、保健施設費、目1、保健衛生普及費、節13、委託料、この基本健診委託料なんですけれども、これが、新設された30歳代の基本健診だと思ってるんですけれども、ちょっと確認だけさせていただきたいと思います。

それから、議案第4号の、10ページになるんですけれども、款2、医療諸費、項1、医療諸費、目1、医療給付費ということで、前年度に比べて1.7億円増ということなんですけれども、これも、先ほど、議案第3号の中でも述べましたように、歳出の方なんですけれども、16年度決算で55億円と。それから、17年度当初は49億円で、今回の議案第12号に関連しまして、補正で51億円と。それから、18年度当初51億円ということで、それまで伸びはないんですけれども、今後のまた給付費の伸びと考え方をお聞きしたいと思います。

○嶋野委員長 佐藤次長。

○佐藤保健福祉部次長 まず、1点目の、保険給付費の増の理由でございますが、

端的に申しますと、現在は、平成14年の医療制度改革に伴いまして、従来は、70歳に到達した段階で老人医療の方に移行いたしまして、70歳以上の方々の医療費については老健の方でお支払いすると、こういう仕組みであったわけですが、これが、75歳に到達するまでそのまま国保の方にとどまっておるということでございまして、現在、一番年齢の高い方は73歳かと思うんですが、その方々の医療費までを国保で負担をせざるを得ないということで、これらの方々の医療費というのは、70歳未満の方々の平均が、年間、大体17万円から18万円ぐらいの医療費なわけですが、70歳以上の方々の年間の医療費が大体40万円から50万円の間ぐらいというようなことで、二倍以上の費用がかかっていると。こういう方々の割合が徐々に増えているために、全体の医療費総額が増えてしまうという状態になっております。これがまず1点目です。

それから、2点目の、いわゆる16年度決算、それから17年度の当初予算、17年度の現在の予算額、それから18年度の当初予算、それぞれの歳出予算総額、この変動の問題でございしますが、まず、1点は、17年度の現時点での予算総額と、18年度当初予算、ここに約2億円余りの差があるわけでございますが、この大きな理由は、この17年度の補正の第1号で、16年度の会計に対しまして、繰り上げ充用をいたしたものが17年度の会計に計上されているということで、その部分が丸々多くなっていると。ですから、この部分については、18年度についても、仮に17年度が最終赤字決算というような形になるようであれば、その部分を、これまでどおり、仮に繰り上げ充用というような形をするようであ

れば、その段階で何億円かはアップしてしまうというような流れになります。

そういうことで、その部分を除きますと、17年度当初予算と18年度当初予算、この間には約1億円余りの差があるわけですが、これは厳密に申しますと、保険給付費が3億円余り、いわゆる医療費部分が増えているわけですが、先ほど、部長からの補足説明でもございましたように、老健の拠出金が、本年度、前年に比へまして2億円近く減少いたしましたので、プラスマイナスで1億円余りの増にとどまっているというようなことでございます。

それから、3点目でございますが、30歳以上40歳未満の方の基本健診、この18年度から新たに始めるわけですが、これは、ご質問のとおりでございます。

○嶋野委員長 登阪課長。

○登阪高齢者障害者福祉課長 それでは、今後の給付の伸びの見込みについてご答弁申し上げます。

今後につきましては、例えば平成18年度におきましては、診療報酬が引き下げられる等のことも予定されております。また、老健につきましては、平成14年末に制度改正がございまして、現在は75歳以上の方が対象となっておりますけれども、いわゆる経過措置がございまして、5年間ということで、19年10月でその経過措置も切れるわけですが、毎年、ですから5年間、70歳以上の方が75歳の方へ移行してまいりますので、対象の方が減となってきております。18年度予算につきましても、一応250人減で試算をしております。

そういうことで、一応、18年度につきましても、人数は減としておりますけれども、17年度の決算見込みとほぼ同

額の金額で予算要求をさせていただいているところでございます。

それから、今後の見込みにつきましては、また20年度には新たな制度改正も予定されてますので、制度そのものかなりまた変わるということでございますので、少しそのあたりの見込みについては難しいというふうに考えております。

○嶋野委員長 村上委員。

○村上委員 先ほど、ご答弁の中で、従来70歳になれば老人保健の方に移行しますという中で、73歳の方がおられると、再度教えていただければなと思います。

それと、個々の収納率の関係なんですけれども、現年分として、平成12年が86.96%、それから、16年が87.51%、こういうふうに収納率が上がってます。滞納分なんですけれども、平成12年でいくと22.28%と、平成16年が13.98%に落ちているというようなことも踏まえまして、この収納率を上げるというんですか、この現年分の、その辺、今までどういうふうになってきたのか。また、今後の考え方をひとつお聞きできればなと、そういうふうに思います。

老人保健の方なんですけれども、老人保健の給付事業におきまして、この医療費の適正化事業の一環ということで、受診者の方を対象にして訪問指導を実施するというようにお聞きしとるんですけれども、重複受診者等の人数とかそういう実態、問題点というか、そういうものがあれば、ちょっとひとつお聞きしたいなと思います。

○嶋野委員長 佐藤次長。

○佐藤保健福祉部次長 2点についてのご質問でございますが、まず、1点目の、73歳の方の問題でございますが、これ、

先ほど申しましたように、平成14年の医療制度改革で、いわゆる平成20年を目途に、老健、この部分を、75歳からの後期高齢者の保健に衣がえをしていくということが決定をいたしております、この14年から19年までの5か年については、いわゆる移行期として、14年の10月段階で既に70歳に到達している方については老健に移行してありますが、平成14年の10月1日以降に70歳に到達した方については、75歳になるまでは、それぞれそのままの、例えば国保であれば国民の保険者、健保であれば健保の保険者で給付を行うというような改正がされておまして、その関係で、現在は73歳、この18年度であれば74歳というふうな形で徐々に上がっていくと。

ですから、これは医療費の見込みの問題でもございますが、単年度で約1億5,000万円ぐらい、医療費の増は、いわゆる年齢が1歳上がっていくごとに、例えば、14年であれば、一つの年齢だけを国保で支えたらよかったものを、翌年には二つの年齢になりますし、3年目には三つの年齢というような形で上がっていきますので、この部分の負担増というのが、単年度、一般分だけであっても1億5,000万円ぐらい増えていくというような状態になっております。そういうことで、73歳が国保におけるのは、医療制度改革に伴って、75歳に到達するまでは、引き続きこれらの方は国保にとどまっていると。

それで、先ほど、登阪課長から答弁がありました、平成20年度には、75歳に到達した段階で、今の老健制度の大幅な再編というんですか、見直しが予定されておるといようなことでございます。

それから、いわゆる収納率の問題でございまして、これ、委員ご指摘のように、過年度収納率は徐々に下がっております。これは、実はある意味で言うと、保険料は過年度をいただいても、現年度をいただいても、お金には年度の区分けは実はないんですが、国保の特別会計の仕組みの中では、現年度収納率が下がりますと、国からの交付金がペナルティーがかかってカットされるというふうな仕組みになっています。この部分を何とか解消して、できるだけ国からの交付金を得ていくというような考えで、過年度よりも現年度優先というような形で対応してきておまして、この結果、この3年ほどは、現年度収納率はごくわずかずつですが上がり始めておまして、それに伴って過年度収納率が下がるというようなことになっているわけですが、ある意味で申しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。

○鳴野委員長 登阪課長。

○登阪高齢者障害者福祉課長 重複受診者等に対する訪問指導についてでございますが、一応、現在、私どもの方で考えておりますのは、重複受診者、それから多受診者、それから頻回受診者、こういった方たちにつきまして、家庭に訪問いたしまして訪問指導をしてまいりたいというふうに考えております。

一応、重複受診者につきましては、同一傷病名で月に2か所以上の医療機関に受診し、かつこの状態が3か月以上続いている方。それから、多受診者の方につきましては、月3万円以上のレセプトが

ある方。頻回の受診者につきましては、同一医療機関に月5回以上受診している方という形で、一応定義づけをいたしております。

この中で、レセプト点検の結果、透析やリハビリ等によりまして、受診の必要性が非常に高いと思われる方を除きますと、私どもの方で把握している部分で言いますと、約20名ぐらいの方がいらっしゃるのではないかなというふうに思っております。

それと、もう一つは、その疾病種目に着目した指導ということで、循環器系疾病、いわゆる生活習慣病を中心とする疾病に着目いたしまして、これも約20名程度の方、合わせて40名程度の方を訪問指導できればなというふうに思っております。

それから、その訪問の目的でございますけれども、あくまで医療費の適正化というよりは、いわゆる適切な医療を受けておられるかという判断は非常に難しいものがございますので、医療の適正化ということではなくて、主眼は、どちらかと言いますと、やはりそういった重複、頻回や、あるいは疾病に着目しまして、保健師による訪問指導を行いまして、具体的にはアンケート調査を実施しまして、ご本人の一般状況や日常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願いいたしますと思います。

○嶋野委員長 村上委員。

○村上委員 先ほど、収納率のお話がございました。

国保というのは、やっぱり基本的には公平というか、全員で支えるというのが基本かと思しますので、これの収納率を今後上げていただくような努力というか、取り組みをまたお願いしていきたいなと、そういうふうに思います。

この老人保健の方なんですけれども、先ほど、合計40名おられるという話で、本当に、老人保健の医療費というんですか、適正化というか、抑制というか、この国保の方もそうなんですけれども、その辺で効果がしっかり上がるような形で、保健師さんとの取り組みをお願いしたいなと思しますので、よろしくお願いいたします。

それから、本当に老人保健もそうなんですけれども、やっぱり健康があつてこそ市全体が元気になるという形になってくるかと思しますので、本当に、市全体が元気出すような形でこの医療関係もしっかり取り組んでいただければというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

○嶋野委員長 ほか、質疑ございますでしょうか。

上村委員。

○上村委員 私の方から、国保に関する議案について質問させていただきます。

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の200

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えで

きるのであれば、ちょっと

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行って

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、

その方の生活実態

昨年6月までの1年間で交付さ

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきましますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきましますので、ご理

解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行つていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということとで実施させて

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響

額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかな

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分け

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまして、その方の生

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらん

だことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論が

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それか

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000

枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があったのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと、明

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けてお

られる医療の内容などを聞かせ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかな

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば

昨年6月までの1年間で交付された短

期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということとで実施させていただきましますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があったのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけな

いかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。し

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その

昨年6月までの1年

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教え

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影

昨年6月までの1年間で交付された短

期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に47

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があつたのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと、明々とつけてんねんけども、要らんとこは消したらもっと安くなるんではないかと、こういう議論も確かに私は聞いておりました。そういうことも含めて、私ども、今2分の1の中で計算をした中では、やはり

したがって、いろいろな要因があるんですけども、そのことはもう厳然たる事実でございますので、その中で歳入が幾ら伸びるか。個人市民税が、また法人市民税がどうなるかと。固定資産税はこういう状況でございますから、そのことを見ながら、この18年度はこういう形でお願いいたしております。応能、応益を50%、50%、そして、国保運協の形をこう変更させていただきましたと。

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの

今言えることは、そういう基本的な視点を持っておりますということだけでご了解いただけたらなというふうに思います。

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解

のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になります

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行つていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということとで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計と

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまして、

その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行つて

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,0

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだこ

とになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったこと

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があ

ったのは、ならば、業務委託料のこ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

昨年6月ま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるの

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分け

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればというこ

とで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,0

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまして、その方の生活実態と、それと、受けてお

られる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ち

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらん

だことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解の

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加

による影響

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしく願いした

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万

増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまし

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしく願ひ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000

枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただ

きまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計として

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増

加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そう

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は200

5年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながれば

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。します

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増

加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結

昨年6月までの1年間で交付された短期証

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100

万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りた

いというふうに考えております

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして

、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があったのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと、明々とつけてんねんけども、要らんとこは消したらもっと安くなるんじゃないかと、こういう議論も確かに私は聞いておりました。そういうことも含めて、私ども、今2分

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につ

昨年6月までの1年間で交付された短

期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方が

○嶋野委員長 安藤委員。

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があったのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと、明々とつけてんねんけども、要らんとこは消したらもっと安くなるんではないかと、こういう議論も確かに私は聞いておりました。そういうことも含めて、私ども、今2分の1の中で計算をした中では、やはり市の方の中でもそういうことをお願ひしたいなど。でええわという方が今までの市営葬儀よりも値上げになってしまうということなんですね。その辺のギャップというんでしょうか、その

点いかがでしょうか、ちょっと改めてお聞かせいただきたいと思います。のであれば、金額をきっちり明示していくことが大事ではないかなと思ってますので、多分、葬儀屋さんそのものは利益追求なんで、当然、市営葬儀でない、一般葬儀の方にいく傾向にならざるを得ないという状況がありますので、そのところ、やっぱり葬儀屋さん、委託先ともようようお話しする中で、市民への還元ということも含めて、十分に議論してやっていただきたいなということをご要望しておきたいと思います。負担を業者さんであったり利用者さんにどんどん転嫁していくという流れがあるわけですので、そういったことも含めて市民の暮らしを最前線で守る市役所としての考え方までが受益者負担というような考え方に変わってしまったときに、果たして本当に摂津市が求める、憲法がうたっているノーマライゼーションの社会をつくっていくことができるのかどうかということを私は心配しているわけで、その点についてはちょっと助

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結

果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000

昨年6月ま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施さ

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくら

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付さ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚

昨年6月までの1年間で交付された短

期証は107万2

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答え

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100

万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付さ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2

昨年6月ま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、も

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらん

だことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということとで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただ

けないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということ

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者

昨年6月までの1年間で交付さ

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付さ

昨年6月ま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。

昨年6月までの1年間で交付された短期証は1

昨年6月ま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだこ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000

枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということとで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増え

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかな

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらん

だことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けて

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくら

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けて

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は20

05年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかな

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定

の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればという

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきましますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらん

だことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていた

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100

万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただき

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解の

ほどよろしくお願ひしたいと思ひます。
しますと、トータルは余り変わらんにし
ても、国からの交付金が余分に入ってくる
というふうな形になりますので、国保
特別会計としてはそ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発
足前の2000年は39万9,000枚
だった。5年間で2.7倍にふくらんだ
ことになる。予備軍の滞納世帯は2005
年に470万。5年前に比べ100万増
えた。おります。今回の保険料改定の影
響額と、それから、被保険者数の増加に
よる影響額と、もし分けてお答えでき
るのであれば、ちょっと教えていただけ
ないかなと思ひます。常生活の状況とか、
医療機関の聞き取り等を行ひまして、そ
の方の生活実態と、それと、受けておら
れる医療の内容などを聞かせていただき
まして、必要があるならば個別の指導を
行ひていくと。そういったことが、結果
として適正化につながればということで
実施させていただきますので、ご理解の
ほどよろしくお願ひした

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権
発足前の2000年は39万9,000
枚だった。5年間で2.7倍にふくらん
だことになる。予備軍の滞納世帯は20
05年に470万。5年前に比べ100万

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権
発足前の2000年は39万9,000
枚だった。5年間で2.7倍にふくらん
だことになる。予備軍の滞納世帯は20
05年に470万。5年前に比べ100
万増えた。おります。今回の保険料改定
の影響額と、それから、被保険者数の

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足前の2000年は39万9,000
枚だった。5

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権
発足前の2000年は39万9,000枚
だった。5

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権
発足前の2000年は39万9,000
枚だった。5年間で2.7倍にふくらん
だことになる。予備軍の滞納世帯は20
05年に470万。5年前に比べ100
万増えた。おります。今回の保険料改定
の影響額と、それから、被保険者数の増
加による影響額と、もし分けてお答え
できるのであれば、ちょっと教えていただけ
ないかなと思ひます。常生活の状況とか、
医療機関の聞き取り等を行ひまして、その

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権
発足前の2000年は39万9,000枚
だった。5年間で2.7倍にふくらんだ
ことになる。予備軍の滞納世帯は200
5年に470万。5年前に比べ100万
増えた。おります。今回の保険料改定の
影響額と、それから、被保険者数の増加に

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権
発足前の2000年は39万9,000
枚だった。5年間で2.7倍にふくらん
だことになる。予備軍の滞納世帯は20
05年に470万。5年前に比べ100
万増えた。おります。今回の保険料改定
の影響額と、それから、被保険者数の増
加による影響額と、もし分けてお答え
できるのであれば、ちょっと教えていただ
けないかなと思ひます。常生活の状況と
か、医療機関の聞き取り等を行ひまして

、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計として

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000

枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふ

昨年6月ま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2

昨年6月までの1年間で交付され

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであ

るという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があったのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと、明々とつけてんねんけども、要らんとこは消したらもっと安くなるんじゃないかと、こういう議論も確かに私は聞いておりました。そういうことも含めて、私ども、今2分の1の中で計算をした中では、やはり市の方の中でもそういうことをお願いしたいなど。でええわという方が今までの市営葬儀よりも値上げになってしまうという

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけな

いかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきまして、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があったのは、ならば、業務委託料

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は20

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発

足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定

の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は200

5年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできる

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思いま

昨年6月までの1年間で交付され

昨年6月ま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定

の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えておりま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わ

昨年6月までの1年間で交付された短

期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればとい

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、も

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていた

だきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があったのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと、明々とつけてんねんけども、要らんとこは消したらもっと安くなるんではないかと、こういう議論も確かに私は聞いておりました。そういうことも含めて、私ども、今2分の1の中で計算をした中では、やはり市の方の中でもそういうことをお願ひしたいなど。でええわという方が今までの市営葬

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施

させていただきますので、ご理解のほど
よろしくお願ひしたいと思ひます。しま
すと、トータルは余り変わらんにしても
、国からの交付金が余分に入ってくる
というふうな形になりますので、国保特別
会計としてはその方がプラスであるとい
う考へで、そういう対応をいたしており
ますの

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期
証は107万2,000枚。小泉政権発足
前の2000年は3

昨年6月までの1年間で交付された短期
証は107万2,000枚。小泉政権発
足前の2000年は39万9,000枚
だった。5年間で2.7倍にふくらんだ
ことになる。予備軍の滞納世帯は2005
年に470万。5年前に比べ100万増
えた。おります。今回の保険料改定の影
響額と、それから、被保険者数の増加に
よる影響額と、もし分けてお答えでき
るのであれば、ちょっと教えていただけ
ないかなと思ひます。常生活の状況とか、医

昨年6月までの1年間で交付された短期
証は107万2,000枚。小泉政権発
足前の2000年は39万9,000枚
だった。5年間で2.7倍にふくらんだ
ことになる。予備軍の滞納世帯は2005
年に470万。5年前に比べ100万増
えた。おります。今回の保険料改定の影
響額と、それから、被保険者数の増加に
よる影響額と、もし分けてお答えでき

昨年6月までの1年間で交付された短期
証は107万2,000枚。小泉政権発
足前の2000年は39万9,000枚
だった。5年間で2.7倍にふくらんだ
ことになる。予備軍の滞納世帯は2005
年に470万。5年前に比べ100万増
えた。

昨年6月までの1年間で

○安藤委員 まず、5年経過して、第3
期事業に入る直前の予算と、それから条
例改正ということではありますが、1号保
険料が約2億円ほどの増加になっており
ます。説明では、今回の保険料の見直し
と、それから、被保険者の増加というこ
とになっております。今回の保険料改定
の影響額と、それから、被保険者数の増
加による影響額と、もし分けてお答えで
きるのであれば、ちょっと教えていただ
けないかなと思ひます。

昨年6月までの1年間で交付された短期
証は107万2,000枚。小泉政権
発足前の2000年は39万9,000
枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだ
ことになる。予備軍の滞納世帯は200
5年に470万。5年前に比べ100万増
えた。おります。今回の保険料改定の影
響額と、それから、被保険者数の増加に
よる影響額と、もし分けてお答えでき
るのであれば、ちょっと教えていただけ
ないかなと思ひます

昨年6月までの1年間で交付された短期
証は107万2,000枚。小泉政権
発足前の2000年は39万9,000
枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだ
ことになる。予備軍の滞納世帯は20
05年に470万。5年前に比べ100
万増えた。おります。今回の保険料改定
の影響額と、それから、被保険者数の増
加による影響額と、もし分けてお答えで
きるのであれば、ちょっと教えていただ
けないかなと思ひます。常生活の状況と
か、医療機関の聞き取り等を行いまして
、その方の生活実態と、それと、受けて
おられる医療の内容などを聞かせていた
だきまして、必要があるならば個別の指導
を行っていくと。そういったことが、結
果として適正化につながればということ
で実施させていただきますので、ご理解

のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しまた、トータルは

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだ

ことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまして、そ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまし

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年

昨年6月ま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は20

05年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況と

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結

果として適正化につながればということ
で実施させていただきますので、ご理解
のほどよろしくお願ひしたいと思います
。しますと、トータルは余り変わらん
にしても、国からの交付金が余分に入
ってくるというふうな形になります
ので、国保特別会計としてはその
方がプラスであるという考えで、
そういう対応をいたしております
ので、その点、ご理解を賜りたい
というふうに考えております。
。れ約650万円とか。このときに
議論があったのは、ならば、
業務委託料のこの人件費、
光熱水費、もっと照明を消したら
どうやと、明々とつけてんねん
けども、要らんとこは消したら
もっと安くなるんじゃないかと、
こういう議論も確かに私は
聞いておりました。そういうこと
も含めて、私ども、今2分の1
の中で計算をした中では、
やはり市の方の中でもそういう
ことをお願ひしたいなと。
でええわという方が今までの
市営葬儀よりも値上げになっ
てしまうということなんですね。
その辺のギャップというんで
しょうか、その点いかがで
しょうか、ちょっと改

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は20

05年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればというこ

とで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうにご考へております。。れ約650万円とか。このときに議論があつたのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと、明々とつけてんねんけども、要らんとこは消したらもっと安くなるんではないかと、こういう議論も確かに私は聞いておりました。そういう

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だつた。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だつた。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だつた。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は200

5年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行つていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だつた。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行ひまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行つていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくる

昨年6月までの1年間で交付された

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100

万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わら

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらん

だことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスである

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えで

きるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があったのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと、明々とつけてんねんけども、要らんところは消したらもっと安くなるのではないかと、こういう議論も確かに私は聞いて

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は200

5年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、そ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということとで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約

650万円とか。このときに議論があったのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと、明々とつけてんねんけども、要らんとこは消したらもっと安くなるんじゃないかと、こういう議論も確かに私は聞いておりました。そういうことも含めて、私ども、今2分の1の中で計算をした中では、やはり市の方の中でもそういうことをお願ひしたいなと。でええわという方が今までの市営葬儀よりも値上げになってしまうということなんですね。その辺のギャップというんでしょうか、その点いかがでしょうか、ちょっと改めてお聞かせいただきたいと思います。のであれば、金額をきっちり明示していくことが大事ではないかなと思っておりますので、多分、葬儀屋さんそのものは利益追求なんで、当然、市営葬儀でない、一般葬儀の方に行く傾向にならざるを得ないという状況がありますので、そのところ、やっぱり葬儀屋さん、委託先ともようようお話しする中で、市民への還元ということも含めて、十分に議論してやっていただきたいなということをご要望しておきたいと思ひます。負担を業者さんであつたり利用者さんにどんどん転嫁していくという流れがあるわ

昨年6月までの1年間で交

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況と

か、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考へで、そういう対応をいたしてあります

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。あります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考へで、そういう対応をいたしてありますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考へてあります。。れ約

650万円とか

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。あります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考へで、そういう対応をいたしてありますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考へてあります。。れ約650万円とか。こ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。あります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思ひます。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして

、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきましますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えて

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えで

きるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればとい

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきましますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があったのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと、明々とつけてんねん

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期

証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。この

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけ

ないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきます

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入ってくるというふうな形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は20

05年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適正化につながればということとで実施させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。しますと、トータルは余り変わらんにしても、国からの交付金が余分に入って

くるといふような形になりますので、国保特別会計としてはその方がプラスであるという考えで、そういう対応をいたしておりますので、その点、ご理解を賜りたいというふうに考えております。。れ約650万円とか。このときに議論があったのは、ならば、業務委託料のこの人件費、光熱水費、もっと照明を消したらどうやと、明々とつけてんねんけども、要らんとこは消したらもっと安くなるんではないかと、こ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、結果として適

昨年6月までの1年間で交付さ
昨年6月までの1年間で
昨年6月までの1年間で
昨年6月までの1年間で交付さ
昨年6月ま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の

影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが、

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらん

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていた

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだこと

○嶋野委員長 安藤委員。

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせてい

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていた

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期

昨年6月までの1

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付さ

昨年6月までの1

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小

昨年6月までの1

期証は10

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚

昨年6月までの1

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

昨年6月までの1

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚

昨年6月までの1

昨年6月までの1

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

昨年6月までの1

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚

昨年6月までの1

昨年6月までの1

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

昨年6月までの1

昨年6月までの1

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付さ

昨年6月までの1年間で交付さ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発

足前の2000年は39万9,000枚

だった。5年間で2.7倍にふ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発

足

昨年6月までの

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万

昨年6月までの

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足前の2000年

昨年6月までの1

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

期証は107万2,000枚。小泉政権

発足前の2000年は39万9,000枚

だった。5年間で2.7倍にふくらんだ

ことになる。予備軍の滞納世帯は200

5年に470万。5年前に比べ100万

増えた。お

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足前の2000年は39万9,000枚

だった。5年間で2.7倍にふくらんだ

ことになる。予備軍の滞納世

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足前の2000年は39万9,000

枚だった。5年間で2.7倍に

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足前の2000年は39万9,000

枚だった。5年間で2.7倍に

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足前の2000年は39万9,000

枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだ

ことになる。予備軍の滞納世帯は20

05年に470万。5年前に比べ100

万増えた。おります。今回の保険料改定

の影

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足前の2000年は39万9,000枚

だった。5年間で2.7倍にふくらんだ

ことになる。予備軍の滞納世帯は200

5年に470万。5年前に比べ100万

増えた。おります。今回の保険料改定の影

響額と、それから、被保険者数の増加に

よる影響額と、もし分けてお答えできる

のであれば、ちょっと教えていただけな

いかなと思います。常

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権

発足前の2000年は39万9,000

枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだ

ことになる。予備軍の滞納世帯は200

5年に

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞き取り等を行いまして、その方の生活実態と、それと、受けておられる医療の内容などを聞かせていただきまして、必要があるならば個別の指導を行っていくと。そういったことが

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万

昨年6月までの1年間で交付された短期証は1

昨年6月ま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらん

だことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分け

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただけないかなと思います。常生活の状況とか、医療機関の聞

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は200

昨年6月までの1年間で交付

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増え

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚

だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教え

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それ

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は39万9,000枚だった。5年間で2.7倍にふくらんだことになる。予備軍の滞納世帯は2005年に470万。5年前に比べ100万増えた。おります。今回の保険料改定の影響額と、それから、被保険者数の増加による影響額と、もし分けてお答えできるのであれば、ちょっと教えていただ

けないかなと思いま

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交

昨年6月までの1

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2000年は3

昨年6月までの1

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は107万2,000枚。小泉政権発足前の2

昨年6月までの1年間で交付され

昨年6月までの1年間で

昨年6月までの1年間で交付された短期証は10

AB at ion

A B A w` -? ?